

# ノートブック コンピューター ユーザー ガイ ド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard  
Development Company, L.P.

ATI および ATI Mobility Radeon は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。SD ロゴは、その所有者の商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2009年12月

製品番号：590542-291

## 製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターで対応していない場合もあります。

## 安全に関するご注意

- 
- △ **警告!** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-



# 目次

## 1 [HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ）

[HP QuickWeb]の起動 .....	2
[HP QuickWeb]の有効化および無効化 .....	2

## 2 機能

ハードウェアの確認 .....	3
各部の名称 .....	4
表面の各部 .....	4
タッチパッド .....	4
ランプ .....	5
ボタン、スピーカー、および指紋認証システム .....	7
キー .....	8
ディスプレイ .....	9
前面の各部 .....	10
背面の各部 .....	10
右側面の各部 .....	11
左側面の各部 .....	12
裏面の各部 .....	13
無線アンテナ .....	14
その他のハードウェア コンポーネント .....	15
ラベル .....	16

## 3 無線、ローカル エリア ネットワーク、およびモデム

無線デバイスの使用 .....	17
無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認 .....	18
無線コントロールの使用 .....	18
無線ボタンの使用 .....	19
[HP Wireless Assistant]の使用 .....	19
[HP Connection Manager]の使用（一部のモデルのみ） .....	20
オペレーティング システムの制御機能の使用 .....	20
無線 LAN の使用 .....	21
無線 LAN のセットアップ .....	21
無線 LAN の保護 .....	22

無線 LAN への接続 .....	23
他のネットワークへのローミング .....	23
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ） .....	24
SIM の装着 .....	25
SIM の取り出し .....	26
Bluetooth 無線デバイスの使用（一部のモデルのみ） .....	27
Bluetooth とインターネット接続共有（ICS） .....	27
無線接続に関する問題のトラブルシューティング .....	28
無線 LAN に接続できない場合 .....	28
優先ネットワークに接続できない場合 .....	29
ネットワーク アイコンが表示されない場合 .....	29
現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合 .....	29
無線 LAN 接続が非常に弱い場合 .....	30
無線ルータに接続できない場合 .....	31
モデムの使用（一部のモデルのみ） .....	32
モデム ケーブルの接続 .....	32
各国仕様のモデム ケーブル アダプターの接続 .....	33
所在地設定の選択 .....	33
現在の所在地設定の表示 .....	33
旅行先の所在地の新規追加 .....	34
国外での接続に関する問題の解決 .....	35
ローカル エリア ネットワークへの接続 .....	36

#### 4 ポインティング デバイスおよびキーボード

タッチパッドの使用 .....	37
タッチパッドの設定 .....	38
外付けマウスの接続 .....	38
キーボード ホットキーの使用 .....	39
システム情報を表示する .....	40
[ヘルプとサポート]を表示する .....	40
印刷オプション ウィンドウを開く .....	41
Web ブラウザーを開く .....	41
画面の切り替え .....	41
スリープの開始 .....	42
[QuickLock]の開始 .....	42
画面の輝度を下げる .....	42
画面の輝度を上げる .....	42
オーディオ CD または DVD を再生、一時停止、または再開する .....	43
オーディオ CD または DVD を停止する .....	43
オーディオ CD または DVD の前のトラックまたはチャプターを再生する .....	43
オーディオ CD または DVD の次のトラックまたはチャプターの再生 .....	43
テンキーの使用 .....	44
内蔵テンキーの使用 .....	45

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え .....	45
内蔵テンキーの機能の切り替え .....	45
別売の外付けテンキーの使用 .....	45
タッチパッドとキーボードの清掃 .....	46

## 5 マルチメディア

マルチメディア機能 .....	47
マルチメディア コンポーネントの確認 .....	48
メディアスマート ボタンの使用（一部のモデルのみ） .....	49
音量の調整 .....	50
メディア操作ホットキーの使用 .....	51
マルチメディア ソフトウェア .....	52
[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用 .....	52
プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用 .....	52
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール .....	53
オーディオ .....	54
外付けオーディオ デバイスの接続 .....	54
オーディオ機能の確認 .....	54
動画 .....	55
外付けモニターまたはプロジェクターの接続 .....	55
HDMI デバイスの接続 .....	56
HDMI 用のオーディオの設定 .....	57
テレビの視聴（一部のモデルのみ） .....	58
Web カメラ .....	59
トラブルシューティング .....	60
オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合 .....	60
コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合 .....	61
ディスクが再生できない場合 .....	62
ディスクが自動再生されない場合 .....	62
DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合 .....	63
DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合 .....	63
ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合 .....	63
DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合 .....	64
デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合 .....	64
最新の HP デバイス ドライバーの入手 .....	65
最新の Windows デバイス ドライバーの入手 .....	65

## 6 HP マルチメディア リモコン（一部のモデルのみ）

各部の機能 .....	66
ボタンのクイック リファレンス .....	67
バッテリーの装着または交換 .....	70

トラブルシューティング .....	72
-------------------	----

## 7 HP マルチメディア リモコン (一部のモデルのみ)

各部の機能 .....	73
ボタンのクイック リファレンス .....	74
バッテリーの装着または交換 .....	78
トラブルシューティング .....	79

## 8 電源の管理

電源オプションの設定 .....	80
省電力設定の使用 .....	80
スリープの開始および終了 .....	80
ハイバネーションの開始および終了 .....	81
バッテリー メーターの使用 .....	81
電源プランの使用 .....	82
現在の電源プランの表示 .....	82
異なる電源プランの選択 .....	82
電源プランのカスタマイズ .....	82
復帰時のパスワード保護の設定 .....	82
グラフィックス モードの切り替え (一部のモデルのみ) .....	84
外部電源の使用 .....	85
AC アダプターの接続 .....	86
AC アダプターのテスト .....	87
バッテリー電源の使用 .....	88
[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認 .....	88
[HP Battery Check]の使用 .....	88
バッテリー充電残量の表示 .....	89
バッテリーの着脱 .....	89
バッテリーの充電 .....	90
バッテリーの放電時間の最長化 .....	91
ロー バッテリー状態への対処 .....	91
ロー バッテリー状態の確認 .....	91
ロー バッテリー状態の解決 .....	92
外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決 .....	92
充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決 .....	92
電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決 .....	92
ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決 .....	92
バッテリー ゲージの調整 .....	93
手順 1 : バッテリーを完全に充電する .....	93
手順 2 : ハイバネーションおよびスリープを無効にする .....	93
手順 3 : バッテリーを放電する .....	94

手順 4 : バッテリーを完全に再充電する .....	94
手順 5 : ハイパネーションおよびスリープを再び有効にする .....	94
バッテリーの節電 .....	95
バッテリーの保管 .....	95
使用済みのバッテリーの処理 .....	95
バッテリーの交換 .....	95
コンピューターのシャットダウン .....	97

## 9 ドライブ

ドライブの取り扱い .....	98
オプティカル ドライブ .....	100
取り付けられているオプティカル ドライブの確認 .....	100
オプティカル ディスクの使用 .....	101
正しいディスクの選択 .....	102
CD-R ディスク .....	102
CD-RW ディスク .....	102
DVD±R ディスク .....	102
DVD±RW ディスク .....	102
LightScribe DVD±R ディスク .....	103
ブルーレイ ディスク .....	103
CD、DVD、または BD の再生 .....	103
自動再生の設定 .....	104
DVD の地域設定の変更 .....	104
著作権に関する警告 .....	105
CD または DVD のコピー .....	105
CD または DVD の作成（書き込み） .....	106
オプティカル ディスク（CD、DVD、または BD）の取り出し .....	107
外付けドライブの使用 .....	108
ハードドライブ パフォーマンスの向上 .....	109
ディスク デフラグの使用 .....	109
ディスク クリーンアップの使用 .....	109
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用（一部のモデルのみ） .....	110
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認 .....	110
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用 .....	111
ハードドライブの交換 .....	112
SmartBay のドライブの交換 .....	116

## 10 外付けデバイス

USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用 .....	118
USB デバイスの接続 .....	118
USB デバイスの取り外し .....	119
eSATA デバイスの使用 .....	120
eSATA デバイスの接続 .....	120

eSATA デバイスの取り外し .....	121
拡張ポートの使用 .....	121

## 11 外付けメディア カード

メディア カードの使用 .....	122
メディア カードの挿入 .....	122
メディア カードの取り出し .....	123
ExpressCard の使用 .....	124
ExpressCard の設定 .....	124
ExpressCard の挿入 .....	124
ExpressCard の取り出し .....	126

## 12 メモリ モジュール

## 13 セキュリティ

コンピューターの保護 .....	131
パスワードの使用 .....	132
Windows でのパスワードの設定 .....	132
セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定 .....	133
管理者パスワード .....	133
管理者パスワードの管理 .....	134
管理者パスワードの入力 .....	134
電源投入時パスワード .....	134
電源投入時パスワードの管理 .....	135
電源投入時パスワードの入力 .....	135
ウイルス対策ソフトウェアの使用 .....	136
ファイアウォール ソフトウェアの使用 .....	136
緊急セキュリティ アップデートのインストール .....	137
別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続 .....	137
指紋認証システムの使用（一部のモデルのみ） .....	138
指紋認証システムの位置 .....	138
指紋の登録 .....	139
登録された指紋を使用した Windows へのログオン .....	140

## 付録 A セットアップ ユーティリティ (BIOS)

セットアップ ユーティリティの開始 .....	141
セットアップ ユーティリティの使用 .....	142
セットアップ ユーティリティの言語の変更 .....	142
セットアップ ユーティリティでの移動および選択 .....	142
システム情報の表示 .....	142
セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元 .....	143
セットアップ ユーティリティの終了 .....	144

セットアップ ユーティリティのメニュー .....	144
[Main] (メイン) メニュー .....	144
[Security] (セキュリティ) メニュー .....	144
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー .....	145
[Diagnostics] (診断) メニュー .....	146
<b>付録 B ソフトウェア アップデート</b>	
BIOS の更新 .....	148
BIOS のバージョンの確認 .....	148
BIOS アップデートのダウンロード .....	149
プログラムとドライバーの更新 .....	151
<b>付録 C バックアップおよび復元</b>	
リカバリ ディスクの作成 .....	153
情報のバックアップ .....	154
Windows の[バックアップと復元]の使用 .....	155
システムの復元ポイントの使用 .....	156
復元ポイントを作成するとき .....	156
システムの復元ポイントの作成 .....	156
以前のある日時の状態への復元 .....	156
復元の実行 .....	157
リカバリ ディスクからの復元 .....	157
専用の復元用パーティションからの復元 (一部のモデルのみ) .....	157
<b>索引</b> .....	<b>159</b>



---

# 1 [HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターのメインのオペレーティング システムは、Windows®です。また、お使いのコンピューターには、[HP QuickWeb]がインストールされている場合があります（一部のモデルのみ）。

- Microsoft® Windows オペレーティング システムは、ディスプレイにデスクトップを表示し、コンピューターのハードウェア、周辺機器、およびソフトウェア プログラムを制御します。
- お使いのコンピューターに[HP QuickWeb]がインストールされている場合は、メインのオペレーティング システムを起動しなくても、[HP QuickWeb]を使用してすばやくインターネットを参照したり、デジタル写真を表示したり、音楽を聴いたり、電子メール、インスタント メッセージ、または[Skype]（一部のモデルのみ）で連絡を取り合ったりできます。[HP QuickWeb]は、HP IOS（Instant-On Software）とも呼ばれます。

---

 **注記：** 通知領域にある[ヘルプ]アイコンをクリックすると、[HP QuickWeb]のソフトウェア ヘルプにアクセスできます。

---

## [HP QuickWeb]の起動

[HP QuickWeb]を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れます。[HP QuickWeb]画面が表示されます。
2. [HP QuickWeb]画面上のアイコンをクリックすると、プログラムが起動します。

Microsoft Windows から[HP QuickWeb]を起動するには、以下の操作を行います。

- ▲ **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[再起動]**の順にクリックします。コンピューターが再起動し、[HP QuickWeb]のホーム ページが表示されます。

 **注記：** [HP QuickWeb]について詳しくは、[HP QuickWeb]のソフトウェア ヘルプを参照してください。

---

## [HP QuickWeb]の有効化および無効化

Windows オペレーティング システムから[HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP QuickWeb]**の順にクリックします。**[HP QuickWeb Installer]**フォルダーが表示されます。**[HP QuickWeb Configuration Tool]** (HP QuickWeb 構成ツール) をクリックします。
2. **[Enable QuickWeb]** ([HP QuickWeb]を有効にする) チェック ボックスにチェックを入れます。
3. **[OK]**をクリックします。

 **注記：** [HP QuickWeb Configuration Tool]には、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[表示方法]**矢印の順にクリックしてアクセスすることもできます。**[大きいアイコン]**または**[小さいアイコン]**を選択して、[HP QuickWeb Configuration Tool]を探します。

---

## 2 機能

### ハードウェアの確認

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。

[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

# 各部の名称

## 表面の各部

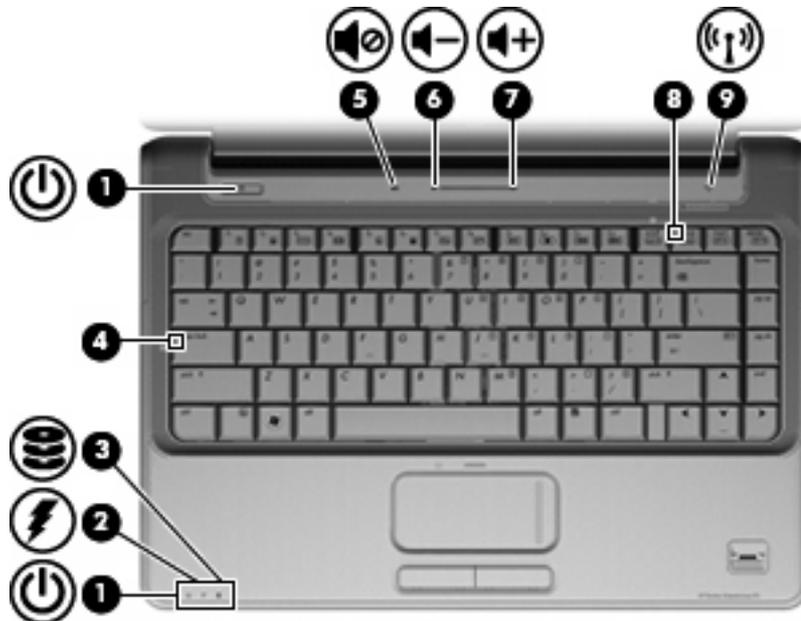
### タッチパッド



名称	説明
(1) タッチパッド ランプ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 白色：タッチパッドが有効になっています</li><li>● オレンジ色：タッチパッドが無効になっています</li></ul>
(2) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(3) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドの有効/無効を切り替えます
(5) タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(6) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

\*この表では初期設定の状態について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、[スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[マウス設定]を選択します。

## ランプ

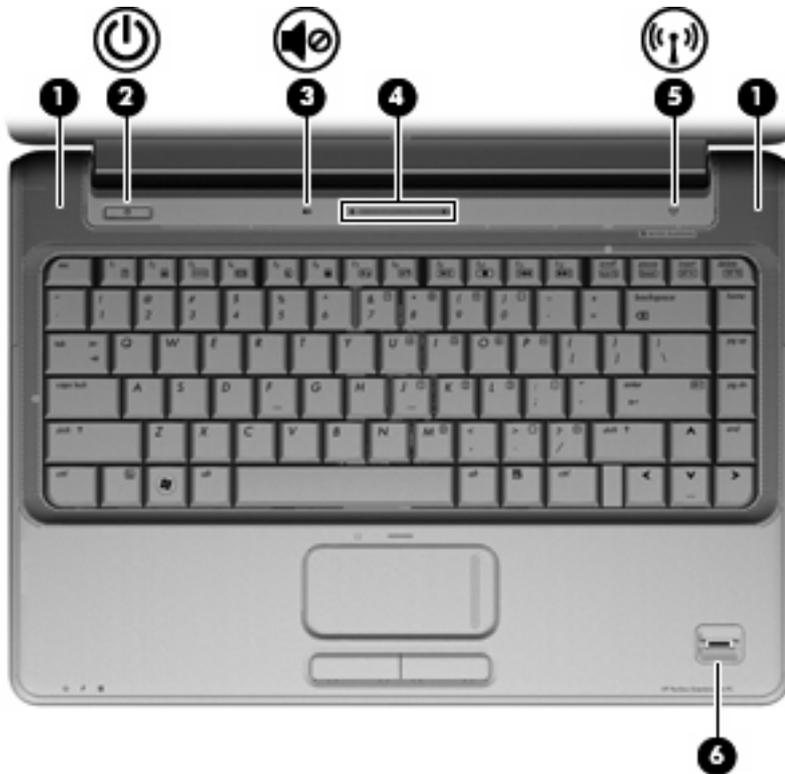


名称	説明
(1) 電源ランプ (×2) *	<ul style="list-style-type: none"> <li>点灯：コンピューターの電源がオンになっています</li> <li>点滅：コンピューターがスリープ状態になっています</li> <li>消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています</li> </ul>
(2) バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>点灯：バッテリーが充電中です</li> <li>点滅：電源にバッテリーのみを使用している状態で、ロー バッテリー状態または完全なロー バッテリー状態になっています</li> <li>消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターのすべてのバッテリーが完全に充電されるとバッテリー ランプが消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリー状態になるまでランプが消灯したままになります</li> </ul>
(3) ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滅：ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしています</li> <li>点灯：[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によって、内蔵ハードドライブ、または存在する場合には SmartBay 内のハードドライブが一時的に停止されています</li> </ul>
(4) Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンの状態です
(5) ミュート (消音) ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>白色：コンピューターのサウンドがオンになっています</li> <li>オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています</li> </ul>
(6) 音量下げランプ	点灯：音量調整スライダーを使用してスピーカーの音量を下けている状態です
(7) 音量上げランプ	点灯：音量調整スライダーを使用してスピーカーの音量を上げている状態です

名称	説明
(8) Num Lock ランプ	点灯：内蔵テンキーが有効な状態です  または  接続されている別売のテンキーで Num Lock が有効な状態です
(9) 無線ランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>青色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています</li> <li>オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています</li> </ul>

\*電源ランプは2つあり、両方とも同じ情報を通知します。電源ボタンのところにある電源ランプはコンピューターを開いているときのみ見えます。コンピューターの前面にある電源ランプは、コンピューターを開いているときも閉じているときも見えます。

## ボタン、スピーカー、および指紋認証システム



名称	説明
(1) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(2) 電源ボタン*	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります</li> <li>コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます</li> <li>コンピューターがスリープ状態のときに短く押すと、スリープが終了します</li> <li>コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します</li> </ul> <p>コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します</p>
(3) ミュート (消音) ボタン	スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりします
(4) 音量調整スライダー	スピーカーの音量を調整します左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。調整スライダーのマイナス記号 (-) をタップして音量を下げたり、プラス記号 (+) をタップして音量を上げたりすることもできます

名称	説明
(5) 無線ボタン	無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません  <b>注記：</b> 無線接続を確立するには、無線ネットワークがすでにセットアップされている必要があります
(6) 指紋認証システム（一部のモデルのみ）	パスワードの代わりに指紋認証を使用して Windows にログオンできます

\*この表では初期設定の状態について説明しています。初期設定値の変更については、[ヘルプとサポート]からユーザー ガイドを参照してください。

## キー



名称	説明
(1) <code>esc</code> キー	<code>fn</code> キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) <code>fn</code> キー	ファンクション キーまたは <code>esc</code> キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3) Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4) Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します
(5) 内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(6) ファンクション キー	<code>fn</code> キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します

## ディスプレイ



名称	説明
(1) 内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源がオンになっている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れます
(2) 内蔵デジタル デュアルアレイ マイク (×2)	サウンドを録音します
(3) 内蔵 Web カメラ ランプ	点灯：内蔵 Web カメラを使用しています
(4) 内蔵 Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします

## 前面の各部



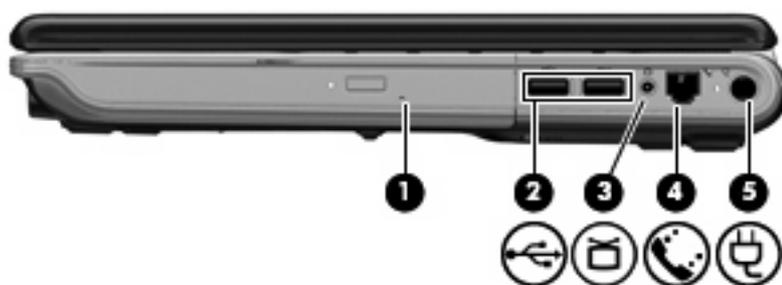
名称	説明
(1) 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none"><li>点灯：コンピューターの電源がオンになっています</li><li>点滅：コンピューターがスリープ状態になっています</li><li>消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています</li></ul>
(2) バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"><li>点灯：バッテリーが充電中です</li><li>点滅：電源にバッテリーのみを使用している状態で、ロー バッテリー状態または完全なロー バッテリー状態になっています</li><li>消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターのすべてのバッテリーが完全に充電されるとバッテリー ランプが消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリー状態になるまでランプが消灯したままになります</li></ul>
(3) ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none"><li>点滅：ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしています</li><li>点灯：[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によって、内蔵ハードドライブ、または存在する場合には SmartBay 内のハードドライブが一時的に停止されています</li></ul>
(4) 赤外線レンズ（リモコン受光部）	HP リモコンから信号を受信します
(5) オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アイマイク、またはモノラル マイクを接続します
(6) オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ（×2）	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します

## 背面の各部



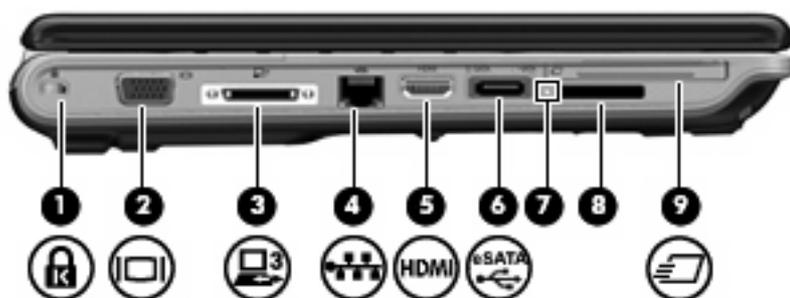
名称	説明
通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します <b>注記：</b> 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

## 右側面の各部



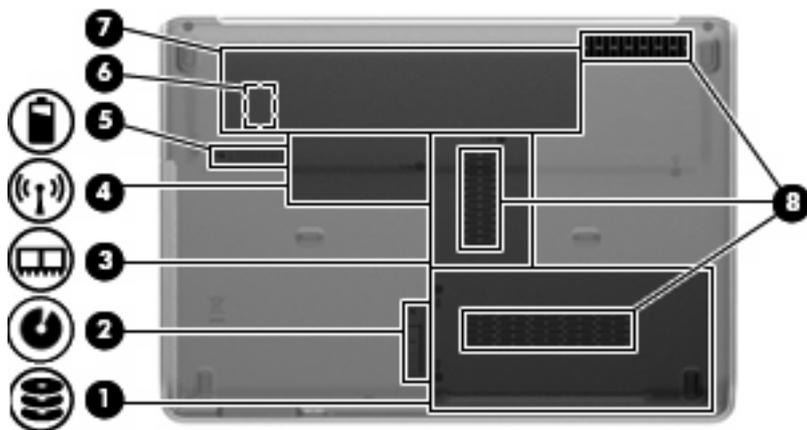
名称	説明
(1) SmartBay	オプティカル ドライブまたはハードドライブを装着できます
(2) USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続します
(3) テレビ アンテナ/ケーブル コネクタ (一部のモデルのみ)	標準または HD 対応のテレビ放送を受信するテレビ アンテナ、デジタル ケーブル デバイス、または衛星デバイスを接続します
(4) RJ-11 (モデム) コネクタ (一部のモデルのみ)	モデム ケーブルを接続します
(5) 電源コネクタ	AC アダプターを接続します

## 左側面の各部



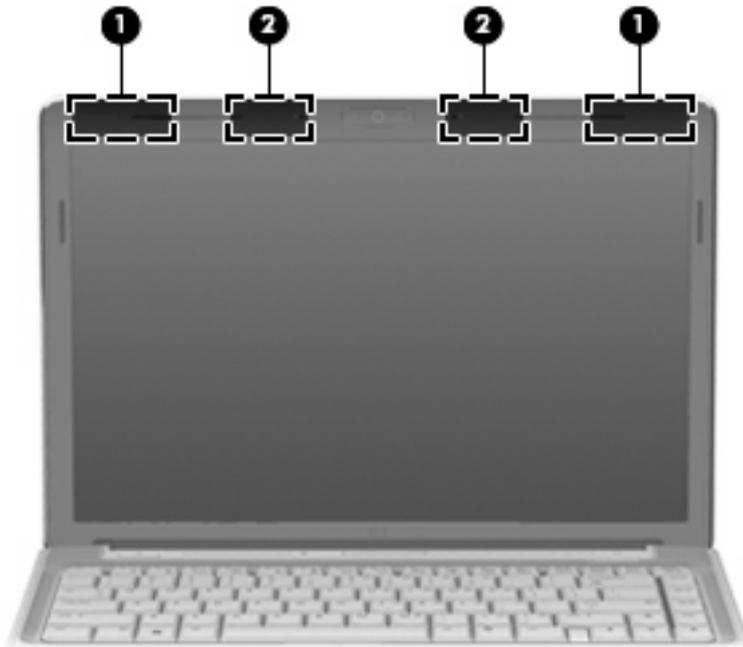
名称	説明
(1) セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します  <b>注記：</b> セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(2) 外付けモニター コネクタ	外付けVGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(3) 拡張ポート 3	別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品にコンピューターを接続します  <b>注記：</b> お使いのコンピューターにある拡張ポートは1つのみです。「拡張ポート 3 (expansion port 3)」という用語は、拡張ポートの種類を表します
(4) RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
(5) HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(6) eSATA/USB コネクタ	eSATA 外部ハードドライブなどの高性能な eSATA コンポーネント、または別売の USB デバイスを接続します
(7) メディア スロット ランプ	点灯：スロット内のメディア カードにアクセスしています
(8) メディア スロット	以下のフォーマットの別売のメディア カードに対応しています <ul style="list-style-type: none"> <li>● メモリースティック (MS)</li> <li>● メモリースティック PRO (MSPro)</li> <li>● マルチメディア カード (MMC)</li> <li>● SD (Secure Digital) メモリ カード</li> <li>● xD ピクチャーカード (XD)</li> </ul>
(9) ExpressCard スロット	別売の ExpressCard/54 カードに対応しています

## 裏面の各部



名称	説明
(1) ハードドライブ ベイ	ハードドライブおよび無線 LAN (WLAN) モジュールを装着します  <b>注意：</b> システムの応答停止を防ぐために、無線モジュールを取り替える場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを装着した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください
(2) SmartBay リリース ラッチ	SmartBay モジュールを取り外します
(3) メモリ モジュール コンパートメント	2 つのメモリ モジュール スロットがあります
(4) ミニ カード コンパートメント	RTC バッテリーを装着します。また、一部のモデルでは、無線 WAN (WWAN) モジュールまたは TV チューナー カードを装着します  <b>注意：</b> システムの応答停止を防ぐために、無線モジュールを取り替える場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを装着した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください
(5) バッテリー リリース ラッチ	バッテリー ベイからバッテリーを取り外します
(6) SIM スロット (一部のモデルのみ)	SIM (Subscriber Identity Module) があります。SIM スロットは、バッテリー ベイの中にあります
(7) バッテリー ベイ	バッテリーが装着されています
(8) 通気孔 (×3)	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します  <b>注記：</b> 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

## 無線アンテナ



名称	説明
(1) 無線 WAN アンテナ (×2) * (一部のモデルのみ)	無線ワイドエリア ネットワーク (無線 WAN) で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 LAN アンテナ (×2) *	無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) で通信する無線信号を送受信します

\*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください

お住まいの国または地域の無線規定については、[ヘルプとサポート]から『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

## その他のハードウェア コンポーネント



名称	説明
(1) 電源コード*	AC アダプターを電源コンセントに接続します
(2) AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
(3) バッテリー*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します

\*バッテリーおよび電源コードは、国や地域によって外観が異なります。このコンピューターを日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品では使用できません。

# ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



- (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
- (2) シリアル番号 (s/n)：各製品に一意の英数字 ID です。
- (3) 製品番号 (p/n)：製品のハードウェア コンポーネントに関する固有の情報を提示する番号です。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます。
- (4) モデルの記載：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに使用します。
- (5) 保証期間：このコンピューターの標準保証期間が記載されています。

この情報は、サポート窓口にお問い合わせするときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。
- モデム認定/認証ラベル (一部のモデルのみ)：モデムの規定に関する情報と、認定各国または各地域の一部に必要な政府機関の認定マーク一覧が記載されています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。モデム認定/認証ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) デバイスや別売の Bluetooth デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルはミニ カード コンパートメントの内側に付いています。
- SIM (subscriber identity module) ラベル (一部のモデルのみ)：SIM の ICCID (Integrated Circuit Card Identifier) が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイの中に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル (一部のモデルのみ)：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイの中に貼付されています。

# 3 無線、ローカル エリア ネットワーク、およびモデム

## 無線デバイスの使用

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、次の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒー ショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール（一部のモデルのみ）：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス（一部のモデルのみ）：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッド セット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは下位の 802.11b デバイスに対応しており、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

 **注記：** 802.11a は、802.11b および 802.11g とは互換性がありません。

- 802.11n は最大 450 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g に対応しています。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

## 無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線ボタンの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また1つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します
	無線（切断済み）	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	HP Connection Manager	[HP Connection Manager]を開きます。[HP Connection Manager]では、HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用した接続を作成できます（一部モデルのみ）
	有線ネットワーク（接続済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1つ以上のネットワーク デバイスが有線ネットワークに接続されていることを示します
	有線ネットワーク（無効/切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされているが、どのネットワーク デバイスも接続されていない（または、すべてのネットワーク デバイスが Windows の[コントロール パネル]で無効になっている）ことを示します
	ネットワーク（接続済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1つ以上のネットワーク デバイスが無線ネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク（切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、無線接続を使用できるが、どのネットワーク デバイスも無線ネットワークに接続されていないことを示します
	ネットワーク（無効/切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされているが、使用できる無線接続がない（または、すべての無線ネットワーク デバイスが無線ボタンまたは[HP Wireless Assistant]によって無効になっている）ことを示します

## 無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューターの無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタンまたは無線スイッチ（このガイドでは無線ボタンと呼びます）
- [HP Wireless Assistant]ソフトウェア
- [HP Connection Manager]ソフトウェア（一部のモデルのみ）
- オペレーティング システムの制御機能

## 無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、1つ以上の無線デバイス、1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっており、コンピューターの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。青い無線ランプが点灯している場合は、1つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプが点灯していない場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

 **注記：** モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっているとオレンジ色のランプが点灯します。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、[HP Wireless Assistant]を使用します。

## [HP Wireless Assistant]の使用

無線デバイスのオンとオフは、[HP Wireless Assistant]を使用して切り替えることができます。無線デバイスがセットアップ ユーティリティで無効になっている場合、そのデバイスのオンとオフを [HP Wireless Assistant]を使用して切り替えるには、あらかじめセットアップ ユーティリティで有効に設定しなおしておく必要があります。

 **注記：** 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたは Bluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、タスクバーの右端の通知領域にある無線アイコンの上にカーソルを置きます。

[無線]アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の操作を行って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[モバイル コンピューター]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。
2. [Windows モビリティ センター]の最下部にある[HP Wireless Assistant]の領域にある無線アイコンをクリックします。[HP Wireless Assistant]が起動します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. 通知領域の[HP Wireless Assistant]アイコンの横のチェック ボックスにチェックを入れます。
5. [適用]をクリックします。
6. [閉じる]をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. [Windows モビリティ センター]にある無線アイコンをクリックして[HP Wireless Assistant]を開きます。
2. [ヘルプ]ボタンをクリックします。

## [HP Connection Manager]の使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターの HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用して無線 LAN に接続するには、[HP Connection Manager]を使用します。

[HP Connection Manager]を開くには、タスクバーの右端の通知領域にある **HP Connection Manager** アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Connection Manager]→[HP Connection Manager]の順に選択します。

[HP Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

## オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows では、[ネットワークと共有センター]によって、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、および接続の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順をクリックします。

詳しい情報を参照するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順をクリックします。

## 無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業無線 LAN や公共無線 LAN などの大規模無線 LAN では通常、多数のコンピューターや周辺機器に対応できる無線アクセス ポイントを使用することによって、重要なネットワーク機能を他のサービスから切り離すことができます。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

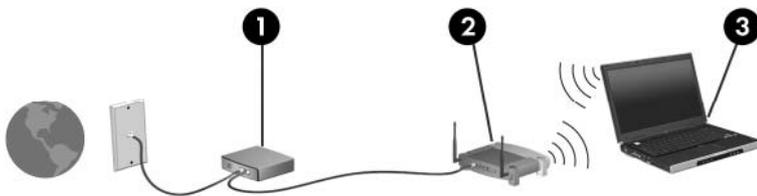
お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

## 無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、次のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（1）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）（2）
- 無線コンピューター（3）

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線および有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

## 無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られており、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティ レベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) -Personal と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出してしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといった無線トランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。

- **無線を暗号化する**

さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」(temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

## 無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが点灯します。無線ランプが点灯していない場合は、無線ボタンを押します。

 **注記：** モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっているとオレンジ色のランプが点灯します。

2. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
3. 一覧から無線 LAN を選択します。
4. **[接続]** をクリックします。

ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[OK]** をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルータまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

**注記：** 接続したいネットワークが表示されない場合は、**[ネットワークと共有センターを開く]** → **[新しい接続またはネットワークのセットアップ]** の順にクリックします。オプションの一覧が表示されます。手動での検索や、ネットワークへの接続、新しいネットワーク接続の作成などのオプションを選択できます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前およびステータスを確認できます。

 **注記：** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルータの製造元、およびその他の電子機器ならびに壁や床からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、次のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー (ISP) から提供される情報や、無線ルータやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- **[ヘルプとサポート]** で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

## 他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

## HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN) を使用できるため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイル ネットワーク事業者と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP モバイル ブロードバンドは、以下のテクノロジーをサポートしています。

- HSPA（High Speed Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM（Subscriber Identity Module）が必要な場合があります。SIM には、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにあらかじめ装着されています。SIM があらかじめ装着されていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着と取り出しについての詳しい情報は、この章の「SIM の装着」と「SIM の取り出し」の項を参照してください。

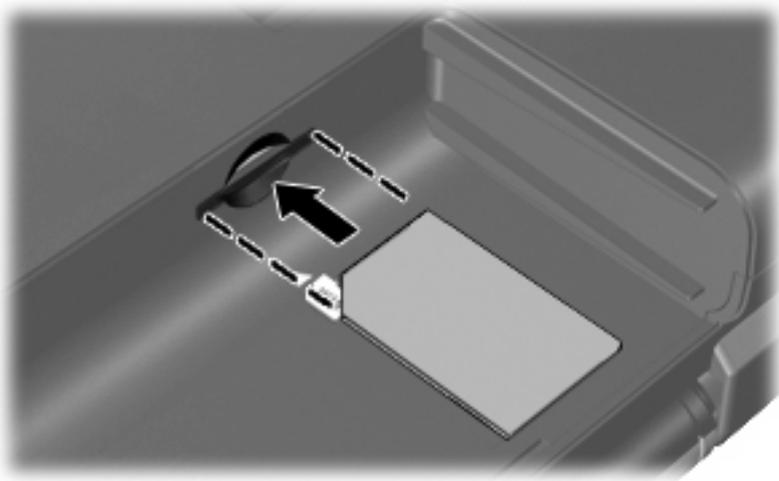
HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/mobilebroadband/>（英語サイト）を参照してください。

## SIM の装着

△ **注意：** コネクタの損傷を防ぐため、SIM を挿入するときは無理な力を加えないでください。

SIM を挿入するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



8. バッテリーを取り付けなおします。

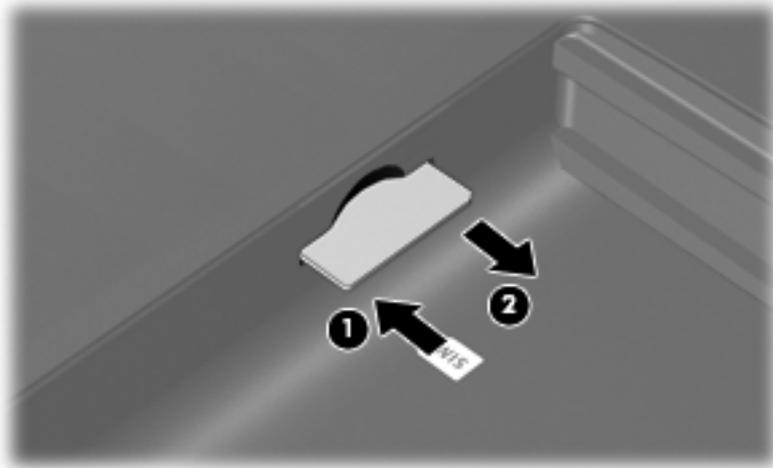
☞ **注記：** バッテリーを装着しなないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

9. 外部電源を接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

## SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM をいったんスロットに押し込んで (1)、固定を解除してから取り出します (2)。



8. バッテリーを取り付けなおします。
9. 外部電源を接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

## Bluetooth 無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、次のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth オンライン ヘルプを参照してください。

## Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有（ICS）が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

## 無線接続に関する問題のトラブルシューティング

無線接続に関する問題の原因として、以下のようなものが考えられます。

- ネットワーク設定（SSID またはセキュリティ）が変更された。
- 無線デバイスのインストールに失敗した、または無線デバイスが無効である。
- 無線デバイスまたはルータのハードウェアが故障した。
- 無線デバイスが他のデバイスからの干渉を受けている。

 **注記：** 無線ネットワーク デバイスは、一部のモデルにのみ搭載されています。無線ネットワーク機能がコンピューターの基本機能として搭載されていない場合は、無線ネットワーク デバイスを購入してコンピューターに追加できます。

ネットワーク接続の問題を解決する可能性のある方法を 1 つずつ実行する前に、すべての無線デバイスについて、デバイス ドライバーがインストールされていることを確認してください。

使用したいネットワークに接続できないコンピューターの診断および修復を行うには、この章で説明する手順を実行してください。

### 無線 LAN に接続できない場合

無線 LAN への接続で問題が発生している場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく取り付けられていることを確認してください。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。
2. [システム]領域の[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [ネットワーク アダプター]の横の矢印をクリックして一覧を展開し、すべてのアダプターを表示します。
4. ネットワーク アダプター一覧で無線 LAN デバイスを確認します。無線 LAN デバイスの場合は、「無線」、「無線 LAN」、「WLAN」、「Wi-Fi」、または「802.11」などと表示されます。

無線 LAN デバイスが表示されない場合は、お使いのコンピューターに無線 LAN デバイスが内蔵されていないか、無線 LAN デバイス用のドライバーが正しくインストールされていません。

無線 LAN のトラブルシューティングについて詳しくは、[ヘルプとサポート]に記載されている Web サイトへのリンクを参照してください。

## 優先ネットワークに接続できない場合

Windows では、問題のある無線 LAN 接続を自動で修復できます。

- タスク バー右端の通知領域にネットワーク ステータス アイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックして、メニューから[診断と修復]をクリックします。

Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

- ネットワーク ステータス アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の操作を行います。
  1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。
  2. [問題のトラブルシューティング]をクリックしてから、修復したいネットワークを選択します。

## ネットワーク アイコンが表示されない場合

ネットワーク ステータス アイコンが無線 LAN 設定後に通知領域に表示されない場合は、ソフトウェア ドライバーがなくなったか壊れています。また、「デバイスが見つかりません」という Windows エラーメッセージが表示されることもあります。このような場合には、ドライバを再インストールする必要があります。

HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>から、お使いのコンピューターに適した最新の無線 LAN デバイス用ソフトウェアおよびドライバを入手してください。お使いの無線デバイスが別途購入されたものである場合、製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

お使いのコンピューターの無線 LAN デバイス ソフトウェアの最新のバージョンを入手するには、以下の操作を行います。

1. Web ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/support/>を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. **enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** お使いの無線デバイスが、別途購入されたものである場合は、その無線デバイスの製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

## 現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合

無線 LAN に接続するときにネットワーク キーまたは SSID の入力を求めるメッセージが表示された場合、そのネットワークはセキュリティ設定によって保護されています。セキュリティ設定で保護されているネットワークに接続するには、現在のコードが必要になります。SSID およびネットワーク

キーは半角英数字のコードで、ネットワークへの認証のためにお使いのコンピューターに入力します。

- お使いの無線ルータに接続されているネットワークの場合は、そのルータの説明書を参照し、ルータと無線 LAN デバイスの両方に同じ SSID コードを設定します。
- 会社のネットワークや、公開インターネット チャットなどのプライベート ネットワークの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせさせてそれらのコードを入手し、コードの入力を求める画面が表示されたときに入力します。

ネットワークによっては、ルータやアクセス ポイントで使用されている SSID を定期的に変更して、セキュリティの向上を図っている場合があります。この変更に応じて、対応するコードをお使いのコンピューターで変更する必要があります。

以前に接続したことがあるネットワーク用に新しいネットワーク キーや SSID が提供されている場合、そのネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

2. 左側の枠内の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックします。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

3. ネットワークを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

 **注記：** 使用するネットワークが一覧にない場合は、ネットワーク管理者に連絡して、ルータまたはアクセス ポイントが稼動していることを確認してください。

4. [セキュリティ]タブをクリックし、[ネットワーク セキュリティ キー]ボックスに、無線の暗号化に必要なデータを正しく入力します。

5. [OK]をクリックしてこれまでの設定を保存します。

## 無線 LAN 接続が非常に弱い場合

接続が非常に弱い場合、またはコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、以下の方法を参考に他のデバイスからの干渉を最小化します。

- コンピューターを無線ルータまたはアクセス ポイントに近づけます。
- 干渉を受けないようにするために、電子レンジ、コードレス電話、携帯電話などの無線デバイスの電源を一時的に切断します。

接続品質が向上しない場合は、デバイスのすべての接続値が強制的に再設定されるように、以下の操作を行っててください。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

2. 左側の枠内の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックします。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

3. ネットワークをクリックし、[削除]をクリックします。

## 無線ルータに接続できない場合

無線ルータに接続しようとして失敗した場合は、その無線ルータの電源を 10 ～ 15 秒間オフにして、リセットしてください。

それでもコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、無線ルータを再起動してください。詳しくは、ルータの製造元の説明書を参照してください。

## モデムの使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータの内蔵モデムは、6 ピンの RJ-11 モデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）を使用してアナログ電話回線に接続する必要があります。国によっては、各国仕様のモデム ケーブル アダプター（一部のモデルにのみ付属）も必要な場合があります。デジタル構内回線（PBX）システム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラー コンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。

- △ **警告！** 内蔵アナログ モデムをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。間違えてモデム ケーブルをデジタル回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。

モデム ケーブルに、TV やラジオからの干渉を防止するノイズ抑制コア（1）が付いている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端（2）をコンピューター側に向けます。

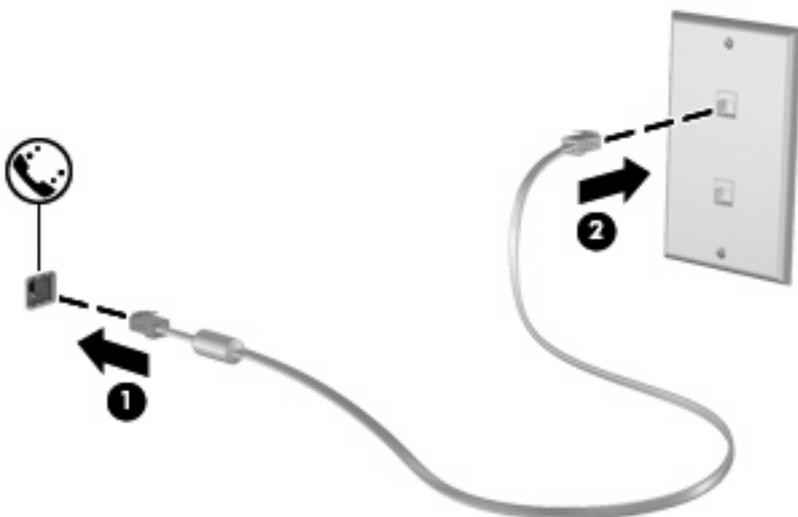


## モデム ケーブルの接続

- △ **警告！** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）または電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

モデム ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. モデム ケーブルをコンピューター本体のモデム コネクタに差し込みます（1）。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線用モジュラー コンセントに接続します（2）。

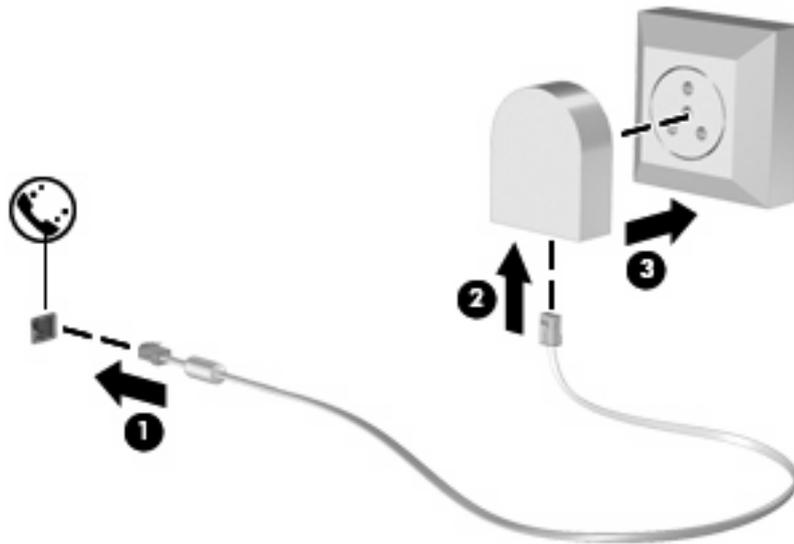


## 各国仕様のモデム ケーブル アダプターの接続

モジュラー コンセントは国によって異なります。モデムおよびモデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）を国外で使用する場合は、各国仕様のモデム ケーブル アダプター（一部のモデルにのみ付属）を用意する必要があります。

RJ-11 モデム コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラー コンセントにケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. モデム ケーブルをコンピューター本体のモデム コネクタに差し込みます (1)。
2. モデム ケーブルを各国仕様のモデム ケーブル アダプターに接続します (2)。
3. 各国仕様のモデム ケーブル アダプターを電話回線用モジュラー コンセントに接続します (3)。



## 所在地設定の選択

### 現在の所在地設定の表示

モデム用の現在の所在地設定を表示するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [時計、言語、および地域]をクリックします。
3. [地域と言語]をクリックします。
4. [所在地]タブをクリックして所在地を表示します。

## 旅行先の所在地の新規追加

初期設定では、お使いのモデムで使用可能な所在地設定は日本用の設定のみです。コンピューターを国外で使用する場合は、使用する国の規格に準拠するように内蔵モデムを設定します。

新しく追加した所在地設定はコンピューターに保存され、設定をいつでも切り替えられるようになります。コンピューターには、任意の国の所在地設定を複数追加できます。

- △ **注意：** モデムの日本用の設定は削除しないでください。日本用の設定を保持した状態で国外でモデムを使用できるようにするには、モデムを使用する国や地域ごとに所在地の構成を新規に追加します。

**注意：** お使いのモデムの設定が、旅行先の国や地域の通信規定や法律に違反することを防ぐため、その国や地域の設定を選択してください。国を正しく選択しないと、モデムが正しく機能しない場合があります。サポートされていない国を選択するとメッセージが表示されます。その国ではこのモデムの使用が認可されていないので、使用しないでください。

モデムの所在地設定を追加するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
2. お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックし、[モデムの設定]をクリックします。

 **注記：** [ダイヤル情報]タブを表示するには、事前に最初の（現在の）所在地の市外局番を設定しておく必要があります。所在地がまだ設定されていない場合は、[モデムの設定]をクリックすると、所在地を入力するよう求めるメッセージが表示されます。
3. [ダイヤル情報]タブをクリックします。
4. [新規]をクリックします。[新しい所在地]ウィンドウが表示されます。
5. [所在地]ボックスに、「自宅」、「会社」などの新しく追加する所在地設定の名前を入力します。
6. [国/地域]ドロップダウン リストから、国または地域を選択します（モデムでサポートされていない国または地域を選択すると、初期設定の[米国]または[英国]が表示されます）。
7. 市外局番を入力します（必要に応じて、回線番号や外線番号も入力します）。
8. [ダイヤル方法]の横の[トーン]または[パルス]をクリックします。
9. 新しい所在地設定を保存するには、[OK]をクリックします。[電話とモデム]ウィンドウが表示されます。
10. 以下の操作のどちらかを行います。
  - 新しい所在地を現在地の設定として使用するには、[OK]をクリックします。
  - 他の所在地設定を現在地の設定として使用するには、[所在地]リストから使用する設定を選択して、[OK]をクリックします。

 **注記：** 国外の設定と同じように、日本国内の所在地設定も追加できます。たとえば、外線に接続するダイヤル情報を含む設定を「会社」という名前でも追加できます。

## 国外での接続に関する問題の解決

コンピューターを購入した国以外でモデムを使用しているときに問題が発生した場合は、以下のことを試してみてください。

- 電話回線の種類の確認

モデムには必ずアナログ電話回線を使用します（デジタル回線を使用しないでください）。PBX回線と呼ばれる回線は、通常はデジタル回線です。データ回線、FAX回線、モデム回線、標準電話回線と呼ばれている電話回線は、通常はアナログ回線です。

- パルスとトーンのどちらのダイヤル方法を使用しているかの確認

アナログ回線では、2つのダイヤルモード（パルスまたはトーン）のどちらかをサポートしています。これらのダイヤルモードオプションは、[電話とモデム]の設定で選択します。選択するダイヤルモードオプションは、お使いの電話回線でサポートされているダイヤルモードと一致する必要があります。

お使いの電話回線でサポートされているダイヤルモードを判断するには、電話機で数桁の番号をダイヤルして、ダイヤル音を聞きます。カタカタという音（パルス音）がする場合は電話回線がパルスダイヤル方式をサポートし、ピポパと音がする場合はトーンダイヤル方式をサポートしていることを示しています。

現在のモデムの所在地設定でダイヤルモードを変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
2. お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックし、[モデムの設定]をクリックします。
3. [ダイヤル情報]タブをクリックします。
4. モデムの所在地設定を選択します。
5. [編集]をクリックします。
6. [トーン]または[パルス]をクリックします。
7. [OK]を2回クリックします。

- ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認

送信先の電話番号をダイヤルし、受信側のモデムが応答することを確認します。

- 発信音を省略するようにモデムを設定する

認識できない発信音を受信した場合、モデムでダイヤルは行われず、[No Dial Tone]（発信音なし）というエラーメッセージが表示されます。

ダイヤル前のダイヤルトーンを省略するようにモデムを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。
2. お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックし、[モデムの設定]をクリックします。
3. [モデム]タブをクリックします。
4. リストからお使いのモデムをクリックします。

5. [プロパティ]をクリックします。
6. [モデム]をクリックします。
7. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスのチェックを外します。
8. [OK]を2回クリックします。

## ローカル エリア ネットワークへの接続

ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル (別売) が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (1) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端 (2) をコンピューター側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます (1)。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます (2)。



△ **警告!** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

## 4 ポインティング デバイスおよびキーボード

### タッチパッドの使用

以下の図および表では、コンピューターのタッチパッドについて説明します。



名称	説明
(1) タッチパッド ランプ	<ul style="list-style-type: none"><li>白色：タッチパッドが有効になっています</li><li>オレンジ色：タッチパッドが無効になっています</li></ul>
(2) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(3) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドの有効/無効を切り替えます
(5) タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(6) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

\*この表では初期設定の状態について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、[スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[マウス設定]を選択します。

ポインターを移動するには、タッチパッドの表面でポインターを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、白い垂直線の上で指を上下にスライドさせます。

 **注記：** ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロールゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロールゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

## タッチパッドの設定

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[マウス設定]を選択します。

## 外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

## キーボード ホットキーの使用

ホットキーは、**fn** キー (1) と、**esc** キー (2) またはファンクション キーのどれか (3) の組み合わせです。

**f1** ~ **f12** の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表します。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。



機能	ホットキー
システム情報を表示する	<b>fn + esc</b>
[ヘルプとサポート]を表示する	<b>fn + f1</b>
印刷オプション ウィンドウを開く	<b>fn + f2</b>
Web ブラウザーを開く	<b>fn + f3</b>
画面を切り替える	<b>fn + f4</b>
スリープを開始する	<b>fn + f5</b>
[QuickLock]を開始する	<b>fn + f6</b>
画面の輝度を下げる	<b>fn + f7</b>
画面の輝度を上げる	<b>fn + f8</b>
オーディオ CD または DVD を再生、一時停止、または再開する	<b>fn + f9</b>
オーディオ CD または DVD を停止する	<b>fn + f10</b>
オーディオ CD または DVD の前のトラックまたはチャプターを再生する	<b>fn + f11</b>
オーディオ CD または DVD の次のトラックまたはチャプターを再生する	<b>fn + f12</b>

コンピューターのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く **fn** キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。  
または
- **fn** キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

## システム情報を表示する

**fn + esc** を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、**fn + esc** を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

## [ヘルプとサポート]を表示する

[ヘルプとサポート]を表示するには、**fn + f1** を押します。

[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムに関する情報以外に、以下の情報とツールも利用できます。

- お使いのコンピューターに関する情報（モデルとシリアル番号、インストールされているソフトウェア、ハードウェア コンポーネント、仕様など）
- コンピューターの使用方法に関する質問への回答
- コンピューターの使用方法および Windows の機能について学ぶことができるチュートリアル
- Windows オペレーティング システム、ドライバー、およびコンピューターに提供されているソフトウェアの更新
- コンピューター機能の確認
- 対話形式による自動的なトラブルの解決方法、修復方法、およびシステムの復元手順
- HP のサポートサイトへのリンク

## 印刷オプション ウィンドウを開く

アクティブな Windows アプリケーションの印刷オプション ウィンドウを開くには、**fn + f2** を押します。

## Web ブラウザーを開く

Web ブラウザーを開くには、**fn + f3** を押します。

インターネットまたはネットワーク サービスを設定するまで、**fn + f3** ホットキーを使用すると Windows のインターネット接続ウィザードが表示されます。

インターネットまたはネットワーク サービスおよび Web ブラウザーのホーム ページを設定した後で、ホーム ページおよびインターネットにすばやく接続するには **fn + f3** を押します。

## 画面の切り替え

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、**fn + f4** を押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、**fn + f4** を押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。**fn + f4** ホットキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が **fn + f4** ホットキーでサポートされます。カッコ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (コンピューター本体のディスプレイ)
- 外付け VGA (ほとんどの外付けモニター)
- S ビデオ (S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード)
- HDMI (HDMI コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード)
- コンポジット ビデオ (コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード)

 **注記：** コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品を使用する必要があります。

## スリープの開始

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、**fn + f5** キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピューターがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始する前に、コンピューターの電源が入っている必要があります。

☞ **注記：** コンピューターがスリープ状態のときに完全なロー バッテリー状態になった場合、コンピューターはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なロー バッテリー状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションを開始しますが、この設定は Windows の[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

**fn + f5** ホットキーの機能は変更できます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように **fn + f5** ホットキーを設定することもできます。

☞ **注記：** Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「スリープ ボタン」に関する記述はすべて、**fn + f5** ホットキーに当てはまります。

## [QuickLock]の開始

[QuickLock]セキュリティ機能を開始するには、**fn + f6** を押します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードが入力されるまでコンピューターに接続できません。

☞ **注記：** [QuickLock]を使用する前に、Windows のユーザー パスワード、または Windows の管理者パスワードを設定する必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[QuickLock]を使用するには、**fn + f6** を押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピューターをロックします。次に、画面の説明に沿って Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードを入力し、コンピューターにアクセスします。

## 画面の輝度を下げる

**fn + f7** を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

## 画面の輝度を上げる

**fn + f8** を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

## オーディオ CD または DVD を再生、一時停止、または再開する

fn + f9 ホットキー機能は、オーディオ CD または DVD が挿入されているときにのみ機能します。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合は、fn + f9 を押すと再生が開始または再開されます。
- オーディオ CD または DVD の再生中に fn + f9 を押すと、再生が一時停止します。

## オーディオ CD または DVD を停止する

オーディオ CD または DVD の再生を停止するには、fn + f10 を押します。

## オーディオ CD または DVD の前のトラックまたはチャプターを再生する

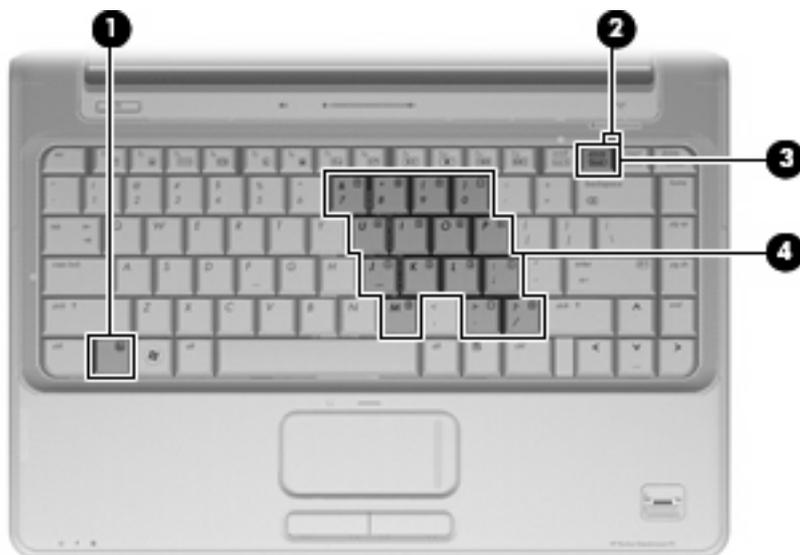
オーディオ CD または DVD の再生中に fn + f11 を押すと、CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプターが再生されます。

## オーディオ CD または DVD の次のトラックまたはチャプターの再生

オーディオ CD または DVD の再生中に、fn + f12 を押すと、CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプターが再生されます。

## テンキーの使用

お使いのコンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。



名称	説明
(1) fn キー	num lk キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります
(2) Num Lock ランプ	点灯：内蔵テンキーが有効な状態です または 接続されている別売のテンキーで Num Lock が有効な状態です
(3) num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります または 接続されている別売のテンキーにある num lk キーの有効/無効が切り替わります
(4) 内蔵テンキー	内蔵テンキーが有効になっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます

## 内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

## 内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、**fn + num lk** キーを押します。Num Lock ランプが点灯します。**fn + num lk** キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

 **注記：** 外付けキーボードまたはテンキーがコンピューターか、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品に接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

## 内蔵テンキーの機能の切り替え

**fn** キーまたは **fn + shift** キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、**fn** キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、**fn** キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、**fn + shift** キーを押したまま文字を入力します。

## 別売の外付けテンキーの使用

通常、ほとんどの外付けテンキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、**page up** キー、**page down** キーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの **num lk** キーを押します。

## タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

- △ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる場合があります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみのはがれて取り除きやすくなります。



## 5 マルチメディア

### マルチメディア機能

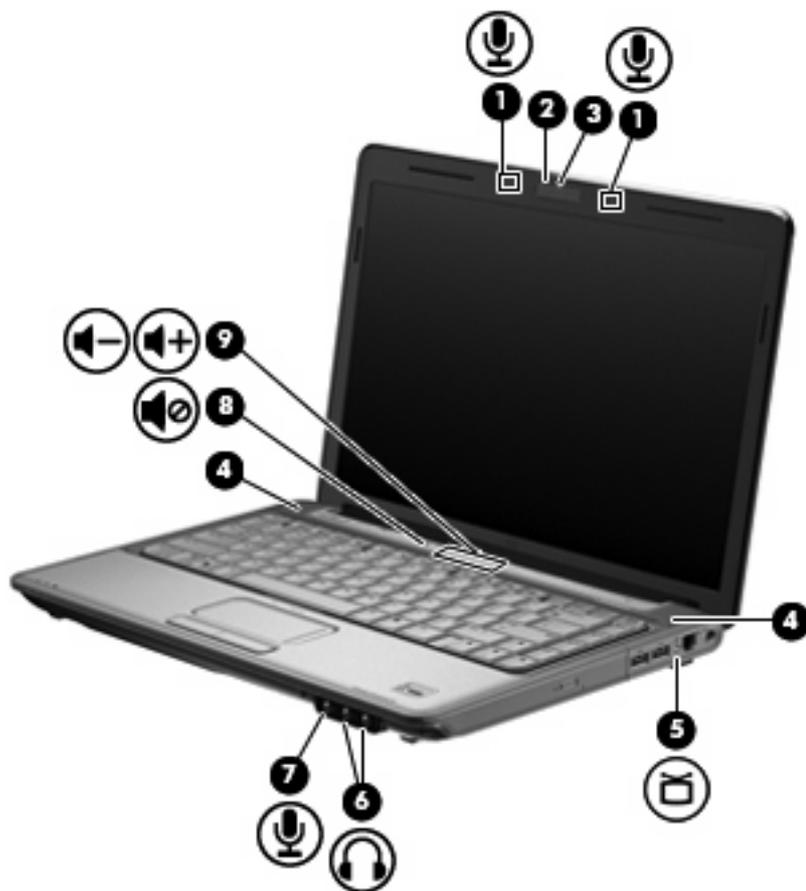
お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれています。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ボタンとホットキー

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

## マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。



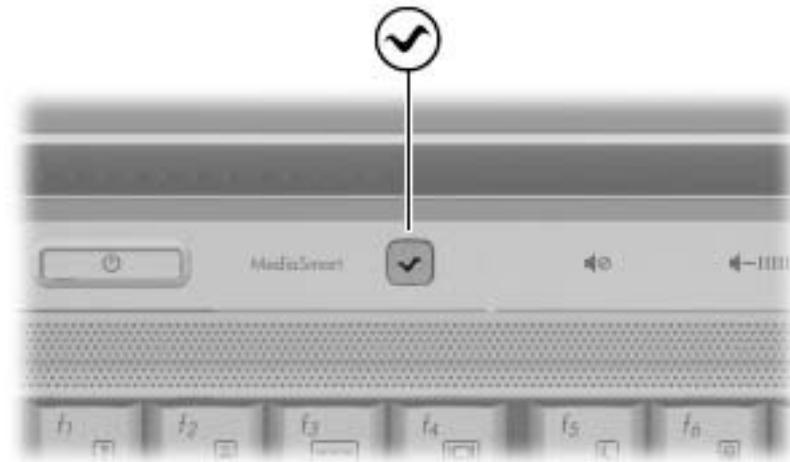
名称	説明
(1) 内蔵デジタル デュアルアレイ マイク (×2)	サウンドを録音します
(2) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(3) Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(4) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(5) テレビ アンテナ/ケーブル コネクタ (一部のモデルのみ)	標準または HD 対応のテレビ放送を受信するテレビ アンテナ、デジタル ケーブル デバイス、または衛星デバイスを接続します
(6) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ (×2)	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します
(7) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

**警告!** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください

名称	説明
(8) ミュート（消音）ボタン	スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりします
(9) 音量調整スライダー	スピーカーの音量を調整します。左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。スクロールゾーンのマイナス記号をタップして音量を下げたり、プラス記号（+）をタップして音量を上げたりすることもできます

## メディアスマート ボタンの使用（一部のモデルのみ）

メディアスマート ボタンの機能は、コンピューターのモデルおよびインストールされているソフトウェアによって異なります。このボタンを使用して、映画を見たり、音楽を聴いたり、画像を表示したりできます。



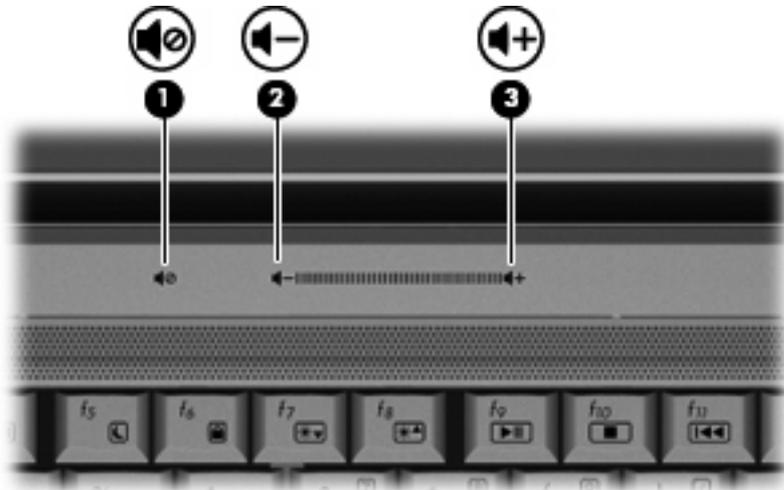
メディアスマート ボタンを押すと[HP MediaSmart]プログラムが起動します。

**注記：** コンピューターがログオン パスワードを要求するようにセットアップされている場合は、Windows へのログオンを求められることがあります。ログオン後に[HP MediaSmart]が起動します。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

## 音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピューター本体の音量調整デバイス（一部のモデルのみ）
  - 音を消したり音量を元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（1）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダーで指を右から左にスライドさせるか、音量下げボタン（2）を押します。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダーで指を左から右にスライドさせるか、音量上げボタン（3）を押します。



- Windows の[ボリューム コントロール] :
  - a. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンをクリックします。
  - b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。[スピーカーをミュート]アイコンをクリックすると、音が出なくなります。または
  - a. 通知領域の[スピーカー]アイコンを右クリックして、[音量ミキサーを開く]をクリックします。
  - b. 音量を調整するには、[スピーカー]列でスライダーを上下に移動します。[スピーカーをミュート]アイコンをクリックして音を消すこともできます。[スピーカー]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の操作を行って表示します。
  - a. [隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）を右クリックします。
  - b. [通知アイコンのカスタマイズ]をクリックします。
  - c. [動作]で、[音量]アイコンの[アイコンと通知を表示]を選択します。
  - d. [OK]をクリックします。
- プログラムの音量調整機能 :

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

## メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、**fn** キー (1) とファンクション キー (2) の組み合わせです。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合、**fn + f9** (3) を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のホットキーを使用できます。
  - ディスクの再生を一時停止または再開するには、**fn + f9** (3) を押します。
  - ディスクを停止するには、**fn + f10** (4) を押します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプターを再生するには、**fn + f11** (5) を押します。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプターを再生するには、**fn + f12** (6) を押します。



## マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディアソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、[HP MediaSmart]およびプリインストールされている他のマルチメディア ソフトウェアの詳細について説明します。

### [HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。[HP MediaSmart]を使用すると、音楽やDVDの動画を楽しむことができます。また、CDに合わせてカラオケを歌ったり、放送中のテレビを鑑賞および録画したりすることもできます（一部のモデルのみ）。[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。

- インターネット TV：従来のさまざまな TV 番組とチャンネルに加え、インターネット接続によってコンピューターにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフル スクリーンでご覧いただけます（一部のモデルのみ）。
- プレイリストのアップロードに対応：
  - [HP MediaSmart]の写真プレイリストは、Snapfish などのインターネット上の写真アルバムにアップロードできます。
  - [HP MediaSmart]のビデオ プレイリストは、YouTube にアップロードできます。
  - [HP MediaSmart]のプレイリストは、[CyberLink DVD Suite]（CyberLink DVD スイート）にエクスポートできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[HP MediaSmart]を起動するには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターのメディアスマート ボタンを押します。

[HP MediaSmart]の使用について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

### プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、[Windows Media Player]をクリックします。

---

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

---

## ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されていたり、ソフトウェアのヘルプに含まれていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

---

# オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）またはFM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）

## 外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください

外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

## オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックします。
3. [サウンド]をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、[サウンド]タブをクリックします。[プログラム イベント]でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、[テスト]ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[サウンド レコーダー]の順に選択します。
2. [録音の開始]をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]または[HP MediaSmart]を開き、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順に選択します。

## 動画

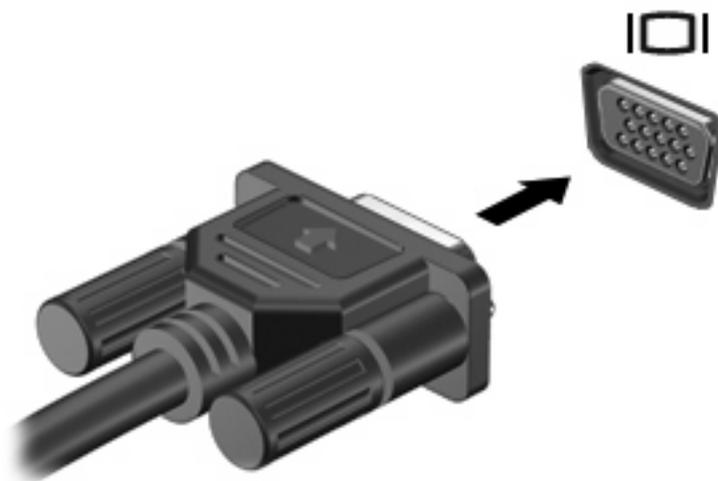
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続
- HD 対応テレビを含むテレビの視聴（一部のモデルのみ）

## 外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



 **注記：** 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**fn + f4** キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。**fn + f4** キーを繰り返し押すと、コンピューター本体のディスプレイとデバイスとで表示画面が切り替わります。

## HDMI デバイスの接続

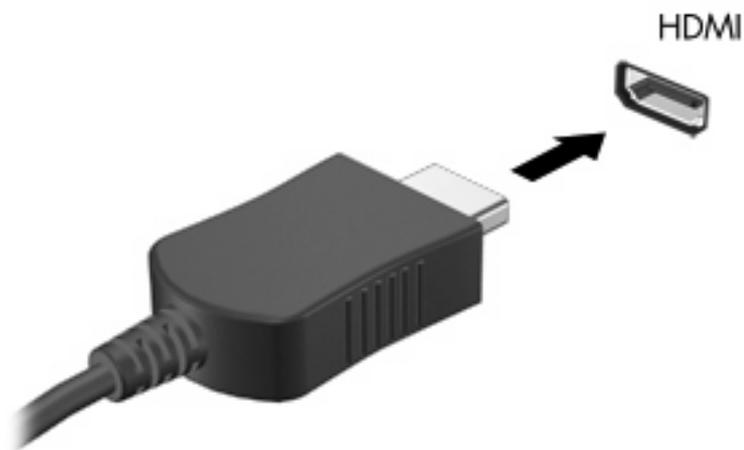
コンピュータには、HDMI (High Definition Multimedia Interface) コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピュータを接続するためのコネクタです。

コンピュータは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピュータ本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

 **注記：** HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、一般の電器店で販売されている HDMI ケーブルを別途購入する必要があります。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの **fn + f4** キーを押します。

## HDMI 用のオーディオの設定

HDMI オーディオを設定するには、まず、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続します。次に、以下の手順でオーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[デジタル出力]または[デジタル出力デバイス (HDMI)]をクリックします。
3. [初期設定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

オーディオをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[スピーカー]をクリックします。
3. [初期設定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

## テレビの視聴（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターに内蔵 TV チューナー（一部のモデルのみ）が搭載されている場合、または別売の外付け TV チューナーが接続されている場合は、放送中のテレビをコンピューターで視聴、録画、および一時停止できます。また、お使いのコンピューターに内蔵 TV チューナーが搭載されている場合は、2つのマルチメディア リモコンがコンピューターに付属しています。

- **HP モバイル リモコン**：オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクの再生などの機能を遠隔操作するもので、ExpressCard スロット内に収納できます。
- **HP マルチメディア リモコン**：テレビの視聴など HP モバイル リモコンより複雑な機能をより離れた場所から遠隔操作できます。

コンピューターでテレビが視聴できるようにするには、コンピューターに付属の冊子『基本操作ガイド』または別売の外付け TV チューナーに付属の説明書に書かれている手順に沿って TV チューナーが設定されていることを確認してください。

TV チューナーまたはインターネットのライブ ストリーミング放送を使用して、[HP MediaSmart]のテレビ モードでテレビを視聴できます。また、録画のスケジュールを作成し、録画したテレビ番組をコンピューター上で再生することもできます。

 **注記**： [HP MediaSmart]のテレビ モードの機能には、インターネットのストリーミング放送のように一部地域で利用できないものがあります。また、高速インターネット接続など追加のハードウェアまたはサービスが必要になる場合もあります。

[HP MediaSmart]のテレビ モードは、以下のオプションに対応しています。使用できるオプションは国や地域によって異なる場合があります。

- **[Slingbox]**（一部のモデルのみ）：自宅のテレビから、現在放送されているテレビ番組を表示します。
- **[EPG]**：EPG（電子番組ガイド）を表示します。
- **[放送中のテレビ]**：放送中のテレビ番組を再生します。
- **[Recorded TV]**（録画したテレビ番組）：テレビから録画した番組を表示します。
- **[Schedule]**（スケジュール）：現在の録画スケジュールをすべて表示します。
- **[Internet TV]**（インターネット TV）：インターネットから、現在放送されているテレビ番組を表示します。

ここでは、HP マルチメディア リモコンを使用してテレビを視聴する方法について説明します。

放送中のテレビ番組を観るには、以下の操作を行います。

1. HP マルチメディア リモコンの[TV]ボタンを押して、[HP MediaSmart]のテレビ モードを開きます。
2. 矢印キーを使用してソース名を選択し、[OK]ボタンを押します。テレビ放送の再生がプレビュー ウィンドウで開始されます。
3. 全画面モードで視聴するには、右矢印キーを押してカーソルをプレビュー ウィンドウに移動し、[OK]ボタンを押します。

 **注記**： キーボードを使用してこれらの操作を実行することもできます。

以前に録画したテレビ番組を観るには、以下の操作を行います。

1. HP マルチメディア リモコンの[TV]ボタンを押して、[HP MediaSmart]のテレビ モードを開きます。
2. 矢印キーを使用して[Recorded TV]を選択し、[OK]ボタンを押します。コンソールが更新され、録画した番組の一覧が表示されます。
3. 矢印キーを使用して見たいテレビ番組を選択し、[OK]ボタンを押します。録画したテレビ放送の再生がプレビュー ウィンドウで開始されます。
4. 全画面モードで視聴するには、右矢印キーを押してカーソルをプレビュー ウィンドウに移動し、[OK]ボタンを押します。

 **注記：** キーボードを使用してこれらの操作を実行することもできます。

[HP MediaSmart]を使用したテレビの視聴について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

## Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。

Web カメラを使用するには、デスクトップの [HP MediaSmart] アイコンをクリックし、[HP MediaSmart]の[SmartMenu]から該当するアイコンを選択して[Webcam]をクリックします。

 **注記：** [HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順にクリックしてから、[検索]フィールドに「MediaSmart」と入力します。

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。
- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

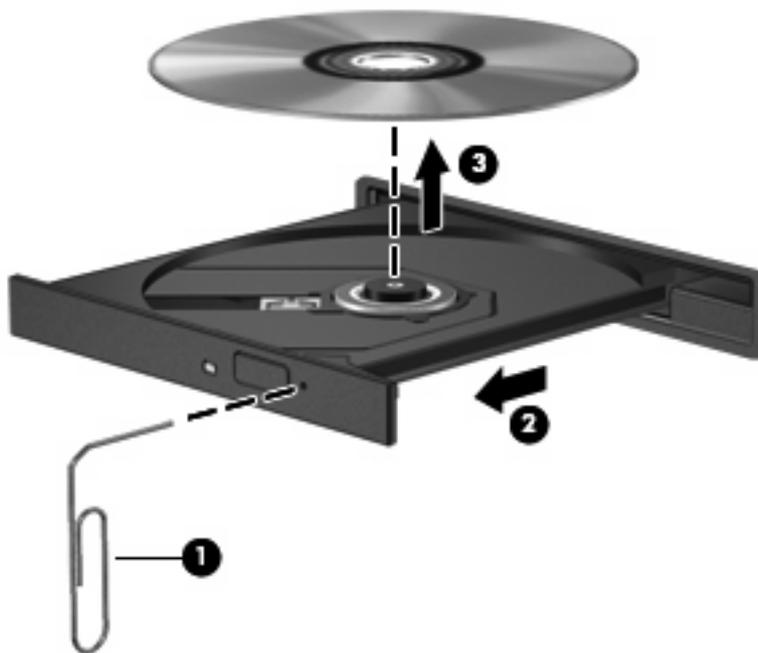
## トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

### オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合、そのデバイスのドライバー ソフトウェアがないか、壊れている可能性があります。オプティカル ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカル ドライブが[デバイス マネージャー]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順にクリックします。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横の矢印をクリックしてリストを展開し、取り付けられているドライブをすべて表示します。
4. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
  - ドライバー ソフトウェアの更新
  - 無効化
  - アンインストール
  - ハードウェアの変更をスキャンします。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要な初期設定のドライバーをインストールします。
  - デバイスが正しく動作しているかどうかを確認するには、[プロパティ]をクリックします。
    - 問題の解決方法に役立つ、デバイスについての詳細情報を[プロパティ]ウィンドウで確認します。
    - デバイスのドライバーを更新、無効化、またはアンインストールするには、[ドライバー]タブをクリックします。

## ディスクが再生できない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると以下ようになります。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  - プリンターとスキャナーなどの外付けデバイスの電源を切ります。外付けデバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。
    1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[画面の解像度]**を選択します。
    2. **[詳細設定]**→**[モニター]**タブの順に選択します。
    3. 設定がまだされていない場合は、**[High Color (16 ビット)]**をクリックします。
    4. **[OK]**をクリックします。

## ディスクが自動再生されない場合

1. **[スタート]**→**[既定のプログラム]**→**[自動再生の設定の変更]**の順にクリックします。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックを入れます。
3. **[保存]**をクリックします。

これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

## DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。
    1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[画面の解像度]**を選択します。
    2. **[詳細設定]**→**[モニター]**タブの順に選択します。
    3. 設定がまだされていない場合は、**[High Color (16 ビット)]**をクリックします。
    4. **[OK]**をクリックします。
  - プリンター、スキャナー、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

## DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、**fn + f4**を1回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニターの設定を行います。
  - a. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[画面の解像度]**を選択します。
  - b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

 **注記：** 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

## ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- **[デバイス マネージャー]**の**[DVD/CD-ROM ドライブ]**カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

## DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

DVD を再生するには、[HP DVD Play]を使用します。[HP DVD Play]はコンピューターにインストールされています。また、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>からも入手できます。

## デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、アンインストールおよび再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横の矢印をクリックします。
4. 一覧からデバイスを右クリックし、[アンインストール]をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、デバイスを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。
5. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、[操作]→[ハードウェア変更のスキャン]の順にクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。  

---

 **注記：** コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

---
6. 必要に応じて[デバイス マネージャー]を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。
7. プログラムを再度実行します。

デバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

## 最新の HP デバイス ドライバーの入手

1. Web ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/support/>を表示し、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力してから、**enter** キーを押します。

または

特定の SoftPak が必要な場合は、[製品名・番号で検索]フィールドに SoftPak 番号を入力し、**enter** キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。

3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. Windows 7 オペレーティング システムをクリックします。
5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. ファイルをダウンロードしないで更新されたドライバーをインストールするには、[**Install Now**] (今すぐインストール) をクリックします。

または

コンピューターにファイルを保存するには、[**Download only**] (ダウンロードのみ) をクリックします。メッセージが表示されたら、[**保存**] をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。

ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。

7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

## 最新の Windows デバイス ドライバーの入手

[Windows Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Windows Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックします。

 **注記：** [Windows Update]がまだ設定されていない場合は、更新チェックの前に設定を入力するよう求めるメッセージが表示されます。

2. [更新プログラムの確認] をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

## 6 HP マルチメディア リモコン（一部のモデルのみ）

### 各部の機能

☞ **注記：** お使いのコンピューターに、このマニュアルで説明しているものより新しい型のリモコンが付属している場合、このユーザー ガイドで説明されている内容とは動作が異なります。お使いのリモコンの最新のユーザー ガイドについては、<http://www.hp.com/support/>から国または地域を選択して、お使いのコンピューターの製品サポート ページを参照してください。

リモコンの赤外線レンズ（リモコン受光部）によって、コンピューターとの赤外線リンクが確立されます。リンクを確立するには、リモコンとコンピューターのそれぞれの赤外線レンズの間に障害物がないようにします。

注意事項：

- リモコンは、Windows オペレーティング システム上の[HP MediaSmart]で機能します。スクロールスマート ダイアルおよびボタンの機能は、実行中のプログラムによって異なる場合があります。

☞ **注記：** [HP MediaSmart]の使用方法については、[HP MediaSmart]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

- リモコンの一部のボタンは、コンピューター本体のボタンと同じように機能します。たとえば、リモコンとコンピューターのそれぞれの電源ボタンは同じように機能するため、互いに代替できます。
- リモコンの一部のボタンは、コンピューターのホットキーと同じように機能します。サポートされているホットキーについて詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください。

ユーザー ガイドを表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順に選択します。

- リモコンのその他のボタンには、コンピューター本体のボタンまたはあらかじめ設定されているホットキーと重複しない機能が用意されています。

# ボタンのクイック リファレンス

ここでは、リモコンの各ボタンの機能について説明します。

 **注記：** ボタンの位置は、お使いのマルチメディア リモコンのモデルによって異なる場合があります。

ボタン	機能
電源 	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピューターの電源が入っているときにボタンを押すと、コンピューターの電源ボタンと同じように機能します。詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください</li></ul> <p>ユーザー ガイドを表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザーガイド]の順に選択します</p> <p><b>注記：</b> コンピューターの電源が切れているときには、リモコンは使用できません</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● コンピューターがスリープ状態のときに短く押すと、スリープが終了します</li><li>● コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します</li></ul>
DVD 	<ul style="list-style-type: none"><li>● DVD の再生中にボタンを押すと、DVD ディスク メニューが開きます</li><li>● DVD が再生されていないときにボタンを押すと、初期設定の DVD プレーヤーが開きます</li></ul> <p><b>注記：</b> コンピューターがログオン パスワードを要求するようにセットアップされている場合は、Windows へのログオンを求められることがあります</p> <p><b>注記：</b> DVD ボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p>
MediaSmart 	ボタンを押すと[HP MediaSmart]が起動します
画面切り替え 	ボタンを押すと、コンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイとの間で表示画面が切り替わります
Windows Media Center 	Windows Vista® Home Premium または Windows Vista Ultimate を使用しているコンピューターでボタンを押すと、[Windows Media Center]のメイン メニューが開きます。[Windows Media Center]ボタンは、他のオペレーティング システムでは機能しません
チャンネル/ページ上 	<ul style="list-style-type: none"><li>● キーボードの <a href="#">page up</a> キーと同じ機能です</li><li>● チャンネルが昇順で切り替わります</li></ul>
停止 	ボタンを押すと、実行中のメディアの動作が停止します

ボタン	機能
早戻し 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すと、選択したメディアが早戻しされます</li> </ul> <p><b>注記：</b> このボタンは、一部のメディア ファイルでは動作しません</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早戻しボタンを押してから再生ボタンを押すと、再生が開始します</li> </ul>
再生/一時停止 	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアが再生されていないときにボタンを押すと、選択したメディアが再生されます</li> <li>メディアの再生中にボタンを押すと、メディアが一時停止します</li> </ul>
早送り 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すと、選択したメディアが早送りされます</li> </ul> <p><b>注記：</b> このボタンは、一部のメディア ファイルでは動作しません</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早送りボタンを押してから再生ボタンを押すと、再生が開始します</li> </ul>
チャンネル/ページ下 	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードの <b>page down</b> キーと同じ機能です</li> <li>チャンネルが降順で切り替わります</li> </ul>
前へ戻る 	ボタンを押すと、前の領域、メニュー、またはボタンに移動します
上 	移動ボタンです。ボタンを押すと、メニュー、ウィンドウ、プログラム内を上に移動します
次へ進む 	ボタンを押すと、次の領域、メニュー、またはボタンに移動します
左 	移動ボタンです。ボタンを押すと、メニュー、ウィンドウ、プログラム内を左に移動します
OK 	移動ボタンです。OK ボタンを押して、希望する操作を選択します。OK ボタンは、コンピューターのキーボードの <b>enter</b> キーと同じように機能します
右 	移動ボタンです。ボタンを押すと、メニュー、ウィンドウ、プログラム内を右に移動します
戻る 	ボタンを押すと、アクティブなアプリケーションで <b>backspace</b> キーの「戻る」機能を実行します

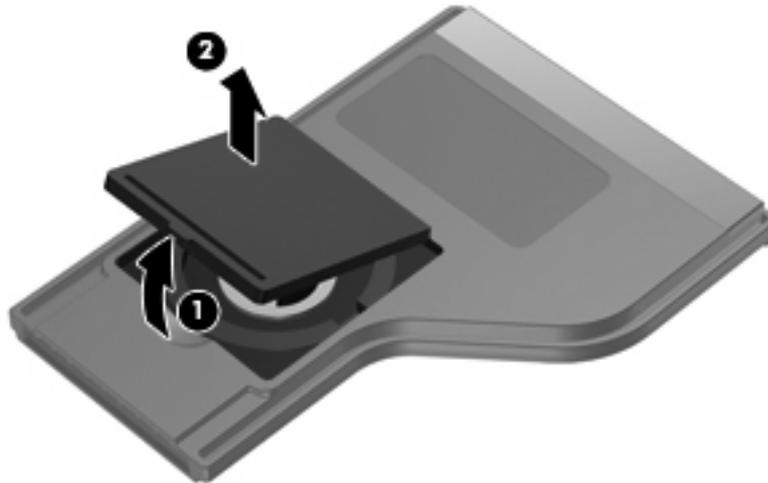
ボタン	機能
下 	移動ボタンです。ボタンを押すと、メニュー、ウィンドウ、プログラム内を下に移動します
設定 	システム情報を表示するときに押します。マルチメディア ソフトウェアによっては、設定メニューを表示するために使用することもあります
音量下げ 	ボタンを押すと、スピーカーの音量が下がります
ミュート (消音) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボタンを押すと、スピーカーの音が消えます</li> <li>• 音が消えているときにボタンを押すと、スピーカーの音量が元に戻ります</li> </ul>
音量上げ 	ボタンを押すと、スピーカーの音量が上がります

## バッテリーの装着または交換

- △ **警告!** バッテリーは消耗品です。使用済みのバッテリーは、ユーザー ガイド ディスクまたは[ヘルプとサポート]にある『規定、安全、および環境に関するご注意』に記載されている指示に従って、正しく処分してください。注意事項を表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順に選択します。

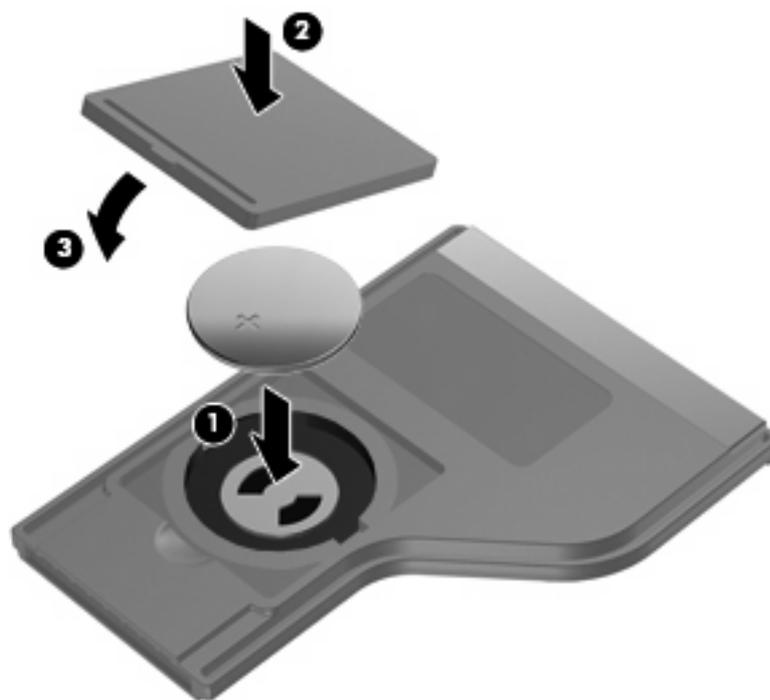
リモコンのバッテリーを装着または交換するには、以下の操作を行います。

1. リモコンの背面にあるバッテリー コンパートメント カバーを持ち上げて (1)、カバーを取り外します (2)。



2. バッテリーを、プラス (+) 面を上に向けてコンパートメントに装着します (1)。

3. バッテリー コンパートメント カバーをバッテリー コンパートメントの位置に合わせて押し下げ (2)、カバーを閉じます (3)。



## トラブルシューティング

お使いのリモコンが正常に機能しない場合は、以下の解決方法を試してみてください。

- リモコンとコンピューターまたは別売のドッキング デバイスの赤外線ポートとの間に障害物がないことを確認します。
- コンピューターまたは別売のドッキング デバイスの赤外線ポートの受信可能範囲にいることを確認します。
- バッテリーが正しく装着され、充電されていることを確認します。必要に応じてバッテリーを交換します。
- 使用しているリモコンが、コンピューターまたは別売のドッキング デバイスをサポートしていることを確認します。

## 7 HP マルチメディア リモコン（一部のモデルのみ）

### 各部の機能

 **注記：** お使いのコンピューターに、このマニュアルで説明しているものより新しい型のリモコンが付属している場合、このユーザー ガイドで説明されている内容とは動作が異なります。お使いのリモコンの最新のユーザー ガイドについては、<http://www.hp.com/support/>から国または地域を選択して、お使いのコンピューターの製品サポート ページを参照してください。

リモコンの赤外線レンズ（リモコン受光部）によって、コンピューターとの赤外線リンクが確立されます。リンクを確立するには、リモコンとコンピューターのそれぞれの赤外線レンズの間に障害物がないようにします。

注意事項：

- リモコンは、Windows オペレーティング システム上の[HP MediaSmart]で機能します。ボタンの機能は実行中のプログラムによって異なる場合があります。

 **注記：** [HP MediaSmart]の使用方法については、[HP MediaSmart]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

- リモコンの一部のボタンは、コンピューター本体のボタンと同じように機能します。たとえば、リモコンとコンピューターのそれぞれの電源ボタンは同じように機能するため、互いに代替できます。
- リモコンの一部のボタンは、コンピューターのホットキーと同じように機能します。サポートされているホットキーについて詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください。

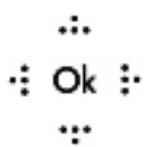
ユーザー ガイドを表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順に選択します。

- リモコンのその他のボタンには、コンピューター本体のボタンまたはホットキーと重複しない機能が用意されています。

# ボタンのクイック リファレンス

ここでは、リモコンの各ボタンの機能について説明します。

 **注記:** ボタンの位置は、お使いのマルチメディア リモコンのモデルによって異なる場合があります。

ボタン	機能
電源 	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターの電源が入っているときにボタンを押すと、コンピューターの電源ボタンと同じように機能します。詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください</li></ul> <p>ユーザー ガイドを表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順に選択します</p> <p><b>注記:</b> コンピューターの電源が切れているときには、リモコンは使用できません</p> <ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターがスリープ状態のときに短く押すと、スリープが終了します</li><li>コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します</li></ul>
録画番組 	[放送中のテレビ]モードのときにこのボタンを押すと、現在の番組の録画を開始します
矢印、OK 	<ul style="list-style-type: none"><li>矢印ボタンを押すと、メニュー、ウィンドウ、プログラム間を移動します。</li><li>OK ボタンを押して、希望する操作を選択します。OK ボタンは入力ボタンと同様に機能します</li></ul>
ガイド 	ボタンを押すと、[Windows Media Center]の電子番組ガイドが開きます
戻る 	ボタンを押すと、アクティブなアプリケーションで <code>backspace</code> キーの「戻る」機能を実行します
ミュート（消音） 	<ul style="list-style-type: none"><li>ボタンを押すと、スピーカーの音が消えます</li><li>音が消えているときにボタンを押すと、スピーカーの音量が元に戻ります</li></ul>
音量上げ 	ボタンを押すと、スピーカーの音量が上がります
音量下げ 	ボタンを押すと、スピーカーの音量が下がります

ボタン	機能
前へ戻る 	ボタンを押すと、前の領域、メニュー、またはボタンに移動します
再生/一時停止 	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアが再生されていないときにボタンを押すと、選択したメディアが再生されます</li> <li>メディアの再生中にボタンを押すと、メディアが一時停止します</li> </ul>
早戻し 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すと、選択したメディアが早戻しされます <b>注記：</b> このボタンは、一部のメディア ファイルでは動作しません</li> <li>早戻しボタンを押してから再生ボタンを押すと、再生が開始します</li> </ul>
テンキー	<p>ボタンを押して、チャンネルを変更したり、テキストボックスにテキストを入力したりします</p> <p><b>注記：</b> 数字ボタンを押すたびに、異なる文字が表示されます。入力ボタンを押して、文字を選択します</p>
消去	ボタンを押すと、最後に入力した文字が消去または削除されます
印刷 	<p><b>注記：</b> 印刷ボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>ボタンを押すと、[マイ ピクチャ]ウィンドウで選択した画像を印刷します</p>
画面切り替え 	<p><b>注記：</b> 画面切り替えボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>ボタンを押すと、コンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイとの間で表示画面が切り替わります</p>
スナップショット 	<p><b>注記：</b> スナップショット ボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>ボタンを押すと、コンピューターの画面の画像が取り込まれてクリップボードに保存されます</p>
ズーム 	<p><b>注記：</b> ズーム ボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>ボタンを押すと、テレビ画面のアスペクト モードが切り替わります</p>
MediaSmart 	<p>ボタンを押すと[HP MediaSmart]が起動します</p> <p><b>注記：</b> コンピューターがログオン パスワードを要求するようにセットアップされている場合は、Windows へのログオンを求められることがあります</p>
放送中のテレビ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すと、テレビ番組が一時停止バッファの最後まで進み、放送中のテレビ番組が再開します。テレビ番組を一時停止しているときにボタンを押すと、放送中のテレビ番組が再開します</li> <li>ボタンを押すと、マルチメディアのソフトウェアが開き、放送中のテレビ番組が全画面モードで開始します</li> </ul>

ボタン	機能
DVD 	<p><b>注記：</b> DVD ボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DVD の再生中にボタンを押すと、DVD ディスク メニューが開きます</li> <li>DVD が再生されていないときにボタンを押すと、初期設定の DVD プレーヤーが開きます</li> </ul> <p><b>注記：</b> コンピューターがログオン パスワードを要求するようにセットアップされている場合は、Windows へのログオンを求められることがあります</p>
Teletext 	<p><b>注記：</b> Teletext ボタンは一部のリモコンにのみ装備されています</p> <p>利用可能な場合、テレビ番組の放送中に Teletext を有効にします</p> <p><b>注記：</b> Teletext がサポートされていない場合、このボタンは動作しません</p>
赤	<p><b>注記：</b> 赤色のボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>TeleText 画面で赤色にマークされた[TeleText]ボタンのリンクを開きます</p>
緑	<p><b>注記：</b> 緑色のボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>TeleText 画面で緑色にマークされた[TeleText]ボタンのリンクを開きます</p>
黄	<p><b>注記：</b> 黄色のボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>TeleText 画面で黄色にマークされた[TeleText]ボタンのリンクを開きます</p>
青	<p><b>注記：</b> 青色のボタンは一部のリモコンにのみ搭載されています</p> <p>TeleText 画面で青色にマークされた[TeleText]ボタンのリンクを開きます</p>
設定 	<p>システム情報を表示するときに押します。マルチメディア ソフトウェアによっては、設定メニューを表示するためにこのボタンを使用することもあります</p>
Windows Media Center 	<p>Windows VistaR Home Premium または Windows Vista Ultimate を使用しているコンピューターでボタンを押すと、[Windows Media Center]のメイン メニューが開きます。[Windows Media Center]ボタンは、他のオペレーティング システムでは機能しません</p> <p><b>注記：</b> オペレーティング システムを確認するには、コンピューターの裏面に貼付されているラベルを参照してください</p>
チャンネル/ページ上 	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードの <b>page up</b> キーと同じ機能です</li> <li>チャンネルが昇順で切り替わります</li> </ul>
チャンネル/ページ下 	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードの <b>page down</b> キーと同じ機能です</li> <li>チャンネルが降順で切り替わります</li> </ul>
次へ進む 	<p>ボタンを押すと、次の領域、メニュー、またはボタンに移動します</p>

ボタン	機能
停止 	ボタンを押すと、実行中のメディアの動作が停止します
早送り 	<ul style="list-style-type: none"><li>ボタンを押すと、選択したメディアが早送りされます</li><li><b>注記：</b> このボタンは、一部のメディア ファイルでは動作しません</li><li>早送りボタンを押してから再生ボタンを押すと、再生が開始します</li></ul>
入力	ボタンを押すと、希望する操作、メニュー、またはウィンドウのオプションを入力または選択できます

## バッテリーの装着または交換

△ **警告！** バッテリーは消耗品です。使用済みのバッテリーは、[ヘルプとサポート]にある『規定、安全、および環境に関するご注意』に記載されている指示に従って、正しく処分してください。注意事項を表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]の順に選択します。

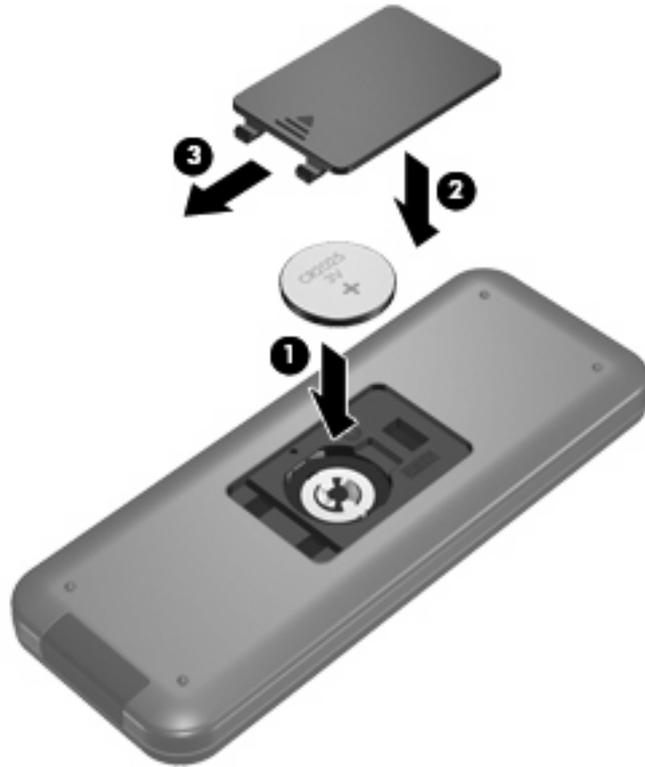
リモコンのバッテリーを装着または交換するには、以下の操作を行います。

1. リモコンの背面にあるバッテリー コンパートメント カバーを矢印の方向にスライドさせ (1)、カバーを持ち上げて取り外します (2)。



2. バッテリーを、プラス (+) 面を上に向けてコンパートメントに装着します (1)。

3. バッテリー コンパートメント カバーをバッテリー コンパートメントの位置に合わせて (2)、カバーをスライドさせて閉じます (3)。



## トラブルシューティング

お使いのリモコンが正常に機能しない場合は、以下の解決方法を試してみてください。

- リモコンとコンピューターまたは別売のドッキング デバイスの赤外線ポートとの間に障害物がないことを確認します。
- コンピューターまたは別売のドッキング デバイスの赤外線ポートの受信可能範囲にいることを確認します。
- バッテリーが正しく装着され、充電されていることを確認します。必要に応じてバッテリーを交換します。
- 使用しているリモコンが、コンピューターまたは別売のドッキング デバイスをサポートしていることを確認します。

## 8 電源の管理

### 電源オプションの設定

#### 省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、スリープとハイバネーションの2つの省電力状態が出荷時の設定で有効になっています。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、スリープを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリーが完全なローバッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを開始します。

ハイバネーションを開始すると、データがハードドライブのハイバネーションファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、またはデータの損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープやハイバネーションを開始しないでください。

🔒 **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の間は、一切のネットワーク接続やコンピューター機能を開始できません。

#### スリープの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が15分間続いた場合、または外部電源の使用時に操作しない状態が30分間続いた場合に、スリープを開始するように出荷時設定されています。

電源設定およびタイムアウトはWindowsの[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

コンピューターの電源がオンの場合、以下のどれかの方法でスリープを開始できます。

- fn + f5 キーを押します。
- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイを閉じます。
- [スタート]→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→[スリープ]の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには以下のどれかの操作を行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを開きます。

- キーボードのキーまたはリモコンのボタンを押します。
- タッチパッドをアクティブにします。

コンピューターがスリープを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

## ハイバネーションの開始および終了

システムは、バッテリー電源と外部電源の両方を使用しているときに操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、ハイバネーションを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル][電源オプション]を使用して変更できます。

ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→[休止状態]の順にクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

## バッテリー メーターの使用

バッテリー メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。バッテリー メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、ポインターを[バッテリー メーター]アイコンの上に移動します。
- 電源オプションにアクセスしたり、電源プランを変更したりするには、[バッテリー メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。

コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリー メーター]アイコンの形の違いで判断できます。アイコンには、バッテリーがロー バッテリー状態、完全なロー バッテリー状態、または省電源移行バッテリー レベルになった場合にそのメッセージも表示されます。

[バッテリー メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の操作を行います。

1. [隠れているインジケーターを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）を右クリックします。
2. [通知アイコンのカスタマイズ]をクリックします。
3. [動作]で、[電源]アイコンの[アイコンと通知を表示]を選択します。
4. [OK]をクリックします。

## 電源プランの使用

電源プランはコンピューターの電源の使用方法を管理するためのシステム設定の集合です。電源プランによって、電力を節約し、パフォーマンスを最大限に向上させることができます。

電源プランの設定を変更したり、独自の電源プランを作成したりできます。

### 現在の電源プランの表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

### 異なる電源プランの選択

- ▲ 通知領域の[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択して、一覧から電源プランを選択します。

### 電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域の[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 電源プランを選択し、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、[詳細な電源設定の変更]をクリックし、変更を行います。

### 復帰時のパスワード保護の設定

スリープ状態またはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[復帰の際パスワードを必要とする]をクリックします。
3. [現在使用できない設定の変更]をクリックします。
4. [パスワードを必要とする (推奨)]をクリックします。

 **注記：** ユーザー アカウント パスワードを作成するか、現在のユーザー アカウント パスワードを変更する必要がある場合は、[ユーザー アカウント パスワードの作成または変更]をクリックして、画面の説明に沿って操作します。ユーザー アカウント パスワードを作成または変更する必要がない場合は、手順 5 に進みます。

5. [変更の保存]をクリックします。

## グラフィックス モードの切り替え（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターにはATI™ Switchable Graphics テクノロジーが搭載されていて、グラフィックス処理に2つのモードを使用できます。外部電源からバッテリー電源に切り替える場合は、ATI Mobility Radeon™ Premium グラフィックスをIntel®内蔵グラフィックスに切り替えることで、コンピューターのバッテリー電力を節約できます。同様に、バッテリー電源から外部電源に切り替える場合、コンピューターを高性能なグラフィックス モードに戻すことができます。

外部電源とバッテリー電源を切り替えるときに、グラフィックス モードが切り替わるのが、コンピューターによって通知されます。必要に応じて、同じグラフィックス モードを使用し続けるように選択できます。コンピューターによってモードが切り替えられると、数秒間画面に何も表示されなくなります。切り替えが完了すると、システム トレイに通知が表示され、画面の画像が再び表示されます。

## 外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

△ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターを使用してください。

- 認定された AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- バッテリーを充電またはバッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が始まります。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域の[バッテリー メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**fn + f8** ホットキーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

## AC アダプターの接続

△ **警告!** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

外部電源からコンピューターへの電力供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

コンピューターを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します (1)。
2. 電源コードを AC アダプターに接続します (2)。
3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します (3)。



## AC アダプターのテスト

外部電源に接続したときにコンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターの電源が入らない。
- ディスプレイの電源が入らない。
- 電源ランプが点灯しない

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターからバッテリーを取り外します。
  - a. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
  - b. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。
  - c. バッテリーを回転させるようにして引き上げて (2)、コンピューターから取り外します (3)。



2. AC アダプターをコンピューターに接続してから、電源コンセントに接続します。
3. コンピューターの電源を入れます。
  - 電源ランプが点灯している場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
  - 電源ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用 AC アダプターを入手する方法については、サポート窓口にお問い合わせください。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[Get assistance] (サポート情報の入手) の順に選択します。

## バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターが AC アダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

 **注記：** 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**fn + f8** ホットキーを使用するか、AC アダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管することも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

 **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HP が提供する交換用バッテリー、または HP から購入した対応するバッテリーを使用してください。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

### [ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認

[ヘルプとサポート]では、バッテリーに関する以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリーの性能をテストするための[HP Battery Check]ツール
- バッテリーの寿命を延ばすための、バッテリー ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリーの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

バッテリー情報にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ [スタート]→[ヘルプとサポート]→[Learn]（ラーニング）→[Power Plans: Frequently Asked Questions]（電源プラン：よくある質問）の順に選択します。

### [HP Battery Check]の使用

[ヘルプとサポート]では、コンピューターに取り付けられているバッテリーの状態について情報を提供します。

[HP Battery Check]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

 **注記：** [HP Battery Check]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[トラブルシューティング]→[Power, Thermal and Mechanical]（電源、サーマル、および機械）の順に選択します。
3. [Power]（電源）タブをクリックし、[HP Battery Check]をクリックします。

[HP Battery Check]は、バッテリーとそのセルを検査して、バッテリーとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

## バッテリー充電残量の表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

## バッテリーの着脱

- △ **注意：** コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしてください。

バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリーをバッテリー ベイに挿入し (1)、しっかりと収まるまで下向きに回転させるようにして取り付けます (2)。

バッテリー リリース ラッチ (3) でバッテリーが自動的に固定されます。



バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。

3. バッテリーを回転させるようにして引き上げて (2)、コンピューターから取り外します (3)。



## バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

バッテリーは、コンピューターが外部電源 (AC アダプター経由)、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続している間、常に充電されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが消灯するまでバッテリーを充電してください。

啓 **注記:** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域のバッテリー メーターに 100% と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5% 未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行ってください。

バッテリー ランプに以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯: バッテリーが充電中です。
- 点滅: バッテリーがロー バッテリー状態か完全なロー バッテリー状態になっており、充電されていません。
- 消灯: バッテリーの充電が完了しているか、バッテリーを使用中か、バッテリーが装着されていない状態です。

## バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]の[省電力]設定を確認します。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

## ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

## ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

ロー バッテリー状態を解決しないと完全なロー バッテリー状態に入り、バッテリー ランプが点滅し続けます。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていないデータは失われます。

## ロー バッテリー状態の解決

△ **注意：** データの損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になり、ハイバネーションが開始した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

### 外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。
  - コンピューターに付属の AC アダプター
  - 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
  - 別売の電源アダプター

### 充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリーを取り出し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

### 電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを開始します。  
または  
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

### ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを押して、ハイバネーションを終了します。

## バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

### 手順 1：バッテリーを完全に充電する

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

🔍 **注記：** バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリーを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、または別売の拡張製品に接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。  
コンピューターのバッテリー ランプが点灯します。
3. バッテリーが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。  
充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

### 手順 2：ハイバネーションおよびスリープを無効にする

1. 通知領域の[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。  
または  
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. バッテリー ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリー駆動]列の[ディスプレイの電源を切る]の設定を記録しておきます。
4. [ディスプレイの電源を切る]の設定を[しない]に変更します。
5. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
6. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
7. バッテリー ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、[次の時間が経過後休止状態にする]の下の[バッテリー駆動]の設定を記録しておきます。
8. [バッテリー駆動]の設定を[なし]に変更します。
9. [OK]をクリックします。
10. [変更の保存]をクリックします。

### 手順 3 : バッテリーを放電する

バッテリーの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリーは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピューターを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下のようになります。
  - モニターが自動的にオフになりません。
  - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
  - システムによるハイバネーションは開始されません。

バッテリーを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリーが放電するまで、バッテリー電源でコンピューターを動作させます。バッテリーの放電が進んでロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリーが放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

### 手順 4 : バッテリーを完全に再充電する

バッテリーを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリーが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

バッテリーの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。

2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリーが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

### 手順 5 : ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする

△ **注意：** バッテリー ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になった場合、バッテリーが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. 通知領域の[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 現在の電源プランのもとで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. [バッテリー駆動]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
4. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。

5. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
6. [バッテリー駆動]列を、記録しておいた設定に戻します。
7. [OK]をクリックします。
8. [変更の保存]をクリックします。

## バッテリーの節電

- [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]→[省電力]の順に選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り外します。
- 必要に応じて、fn + f7 および fn + f8 ホットキーを使用して画面の輝度を調節します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

## バッテリーの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

☞ **注記：** 保管中のバッテリーは6か月ごとに点検する必要があります。容量が50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

## 使用済みのバッテリーの処理

△ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

詳しくは、このコンピューターに付属の『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

## バッテリーの交換

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[バッテリー チェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリー容量が「ロー バッテリー」の状態になったときに、バッテリーを交換するようユーザーに通知します。交換用バッテリーの購入

について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。バッテリーが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。

 **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、充電残量のインジケーターが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。

## コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合には、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使わず、外部電源から切り離す場合

電源ボタンでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した手順をおすすめします。

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

☞ **注記：** コンピューターがスリープ状態またはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了させる必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]をクリックします。
3. [シャットダウン]をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- **ctrl+alt+delete** を押し、[電源]ボタンをクリックします。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離し、バッテリーを取り外します。

---

## 9 ドライブ

### ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

光学ドライブ 内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

## オプティカル ドライブ

お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張するオプティカル ドライブが搭載されています。コンピューターに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピューターにブルーレイ ディスク ROM ドライブが搭載されている場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。

### 取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

お使いのコンピューターに取り付けられている、オプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどちらかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- LightScribe スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)
- LightScribe スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)

---

 **注記：** コンピューターによっては、上記の一部のドライブがサポートされていない場合があります。

---

## 光学ディスクの使用

光学ドライブは、光学ディスクに対応しています。光学ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。光学ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブであれば、ブルーレイ ディスク (BD) の読み取りもできます。

これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVDの方が、CDより大きい容量を扱うことができます。また、BDはすべてのディスクで最も大きい容量を扱うことができます。

 **注記：** 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合があります。また、サポートされている光学ドライブすべてが下記の一覧に記載されているわけではありません。

以下の一覧に示すように、光学ドライブによっては、光学ディスクに書き込みができるものもあります。

光学ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD±R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ DVD ±RW/CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)	はい	はい	はい	いいえ
LightScribe スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)	はい	はい	はい	はい
スーパーマルチ DVD ±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)	はい	はい	はい	いいえ
LightScribe スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応)	はい	はい	はい	はい

 **注意：** オーディオまたはビデオの劣化、情報または再生機能の損失を防ぐため、ディスクの読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

## 正しいディスクの選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、およびBD）に対応しています。デジタル データの保存に使用されるCDは商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD およびBDは、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVDとBDはCDと同じ形態ですが、DVDの容量はCDの6～7倍、BDの容量はDVDの5～6倍になります。

 **注記：** お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

### CD-R ディスク

CD-R ディスク（一度だけ書き込みが可能なCD）は、長期保存用のアーカイブを作成したり、ファイルを共有したりするときなどに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの恒久的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード（移動）

データを記録した後は、データを削除したり追加で書き込んだりすることはできません。

### CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みが可能なCD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときを使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

### DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を恒久的に保存するときを使用します。データを記録した後は、データを削除したり追加で書き込んだりすることはできません。

### DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できないCDまたはDVDに書き込む前にオーディオや動画の記録テストをする場合に最も適しています。

## LightScribe DVD±R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤーでの読み取りに対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むのみでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

## ブルーレイ ディスク

BD とも呼ばれるブルーレイ ディスクは、HD 対応動画などのデジタル情報を保存する高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くになります。

通常は、以下の用途で使用します。

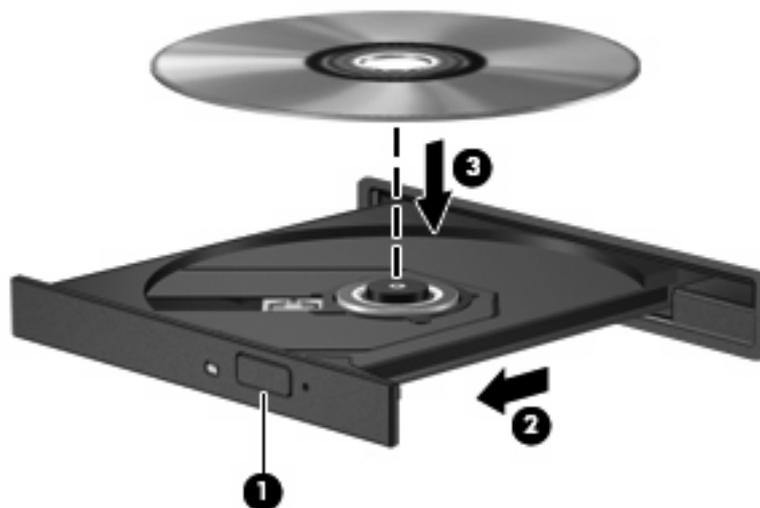
- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生および保存

## CD、DVD、または BD の再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログボックスが開きます。メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

## 自動再生の設定

1. [スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]の順に選択します。
2. コンピューター画面の左上にあるすべてのメディアとデバイスで自動再生を使うチェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [既定を選択する]をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類から、使用可能なオプションのどれかを選択します。
4. [保存]をクリックします。

 **注記：** 自動再生については、[ヘルプとサポート]を参照してください。

## DVD の地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

 **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横の矢印をクリックして一覧を展開し、取り付けられているドライブをすべて表示します。
3. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
4. [DVD 地域]タブで変更を行います。
5. [OK]をクリックします。

## 著作権に関する警告

コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐため、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピューターを安定した外部電源に接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。その情報をハードドライブに保存し、次にハードドライブからコピー先のディスクに書き込みます。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

📖 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されていたり、ソフトウェアのヘルプに含まれていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

## CD または DVD のコピー

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suite] (CyberLink DVD スイート) → [Power2Go]の順に選択します。

2. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

3. 画面右下の[コピー]をクリックします。

コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダーにコピーされます。

4. メッセージが表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

## CD または DVD の作成（書き込み）

お使いのコンピューターに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータおよびオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[MyDVD]を使用します。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤーは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するプログラムの名前を選択します。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. [スタート]を右クリックしてから[エクスプローラーを開く]をクリックし、元のファイルを保存したフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

## 光学ディスク（CD、DVD、またはBD）の取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン（1）を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（2）。
2. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（3）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## 外付けドライブの使用

外付けのリムーバブルドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。USBドライブを追加するには、コンピューター本体のUSBコネクタ、または別売のドッキングデバイスか別売の拡張製品のUSBコネクタに接続します。

USBドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ

 **注記：** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

 **注意：** 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。

別電源が必要なドライブを取り外すときは、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

# ハードドライブ パフォーマンスの向上

## ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

いったんディスク デフラグを開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで1時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピューターにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも1か月に1度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは1か月に1度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [ディスクの最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

## ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

## [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用（一部のモデルのみ）

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、入出力要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリー電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリー電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらのどれかが発生して終了すると間もなく、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]はハードドライブを通常動作に戻します。

 **注記：** ハードドライブが SmartBay に取り付けられている場合、そのハードドライブは[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で保護されます。オプションのドッキングステーション内のハードドライブやUSBコネクタで接続されているハードドライブは、HP ProtectSmart Hard Drive Protection では保護されません。

詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

## [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認

コンピューターのドライブランプが点灯し、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。[Windows モビリティ センター]には、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態も表示されます。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェックマークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、白い斜線がハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。

 **注記：** [Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

 **注記：** [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、[はい]をクリックします。

2. [システム トレイ上のアイコン]行で[表示]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピューターは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

 **注記：** コンピューターがバッテリー電源で動作中に完全なロー バッテリー状態になった場合は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で停止されたドライブであってもハイバネーションが開始されます。

コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンするか、スリープまたはハイバネーションを開始します。

## [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

 **注記：** [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。なお、Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

 **注記：** [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、[はい]をクリックします。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

## ハードドライブの交換

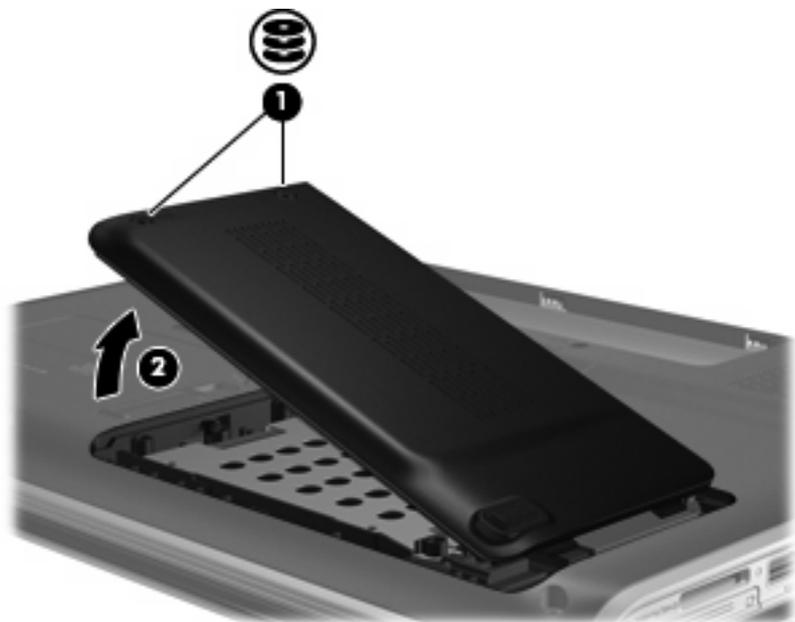
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

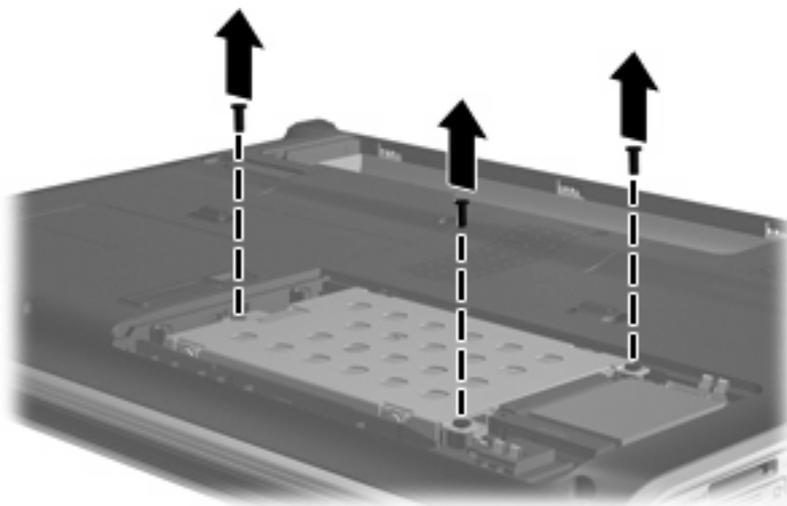
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

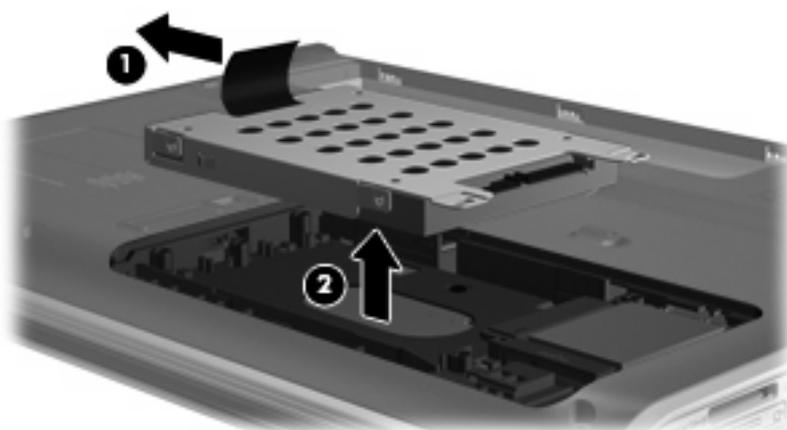
1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの 2 つのネジ (1) を緩めます。
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて (2)、コンピューターから取り外します。



9. ハードドライブの3つのネジを取り外します。



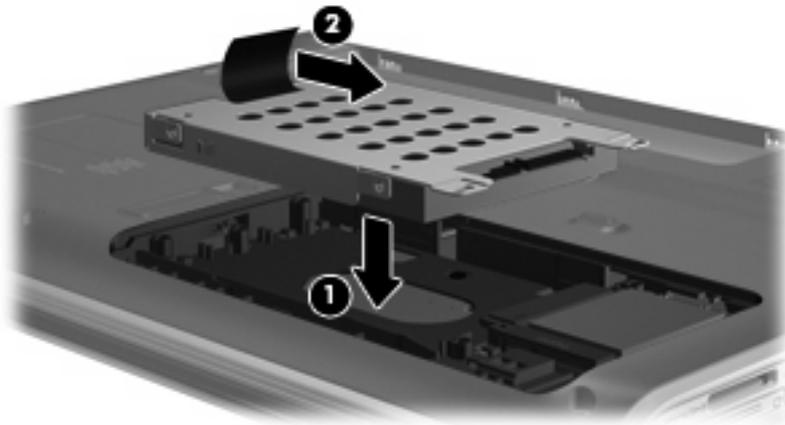
10. ハードドライブ タブを左方向に引き (1)、ハードドライブをコンピューターから取り出します (2)。



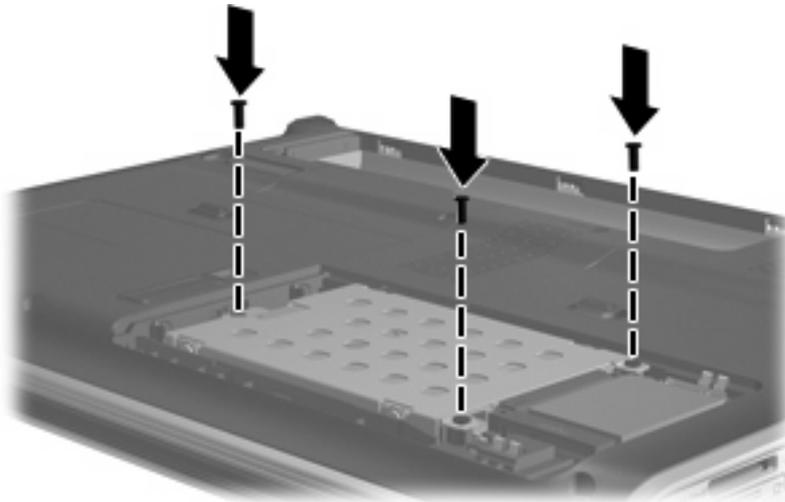
ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。

2. 確実に収まるまでハードドライブを右側にスライドさせます (2)。

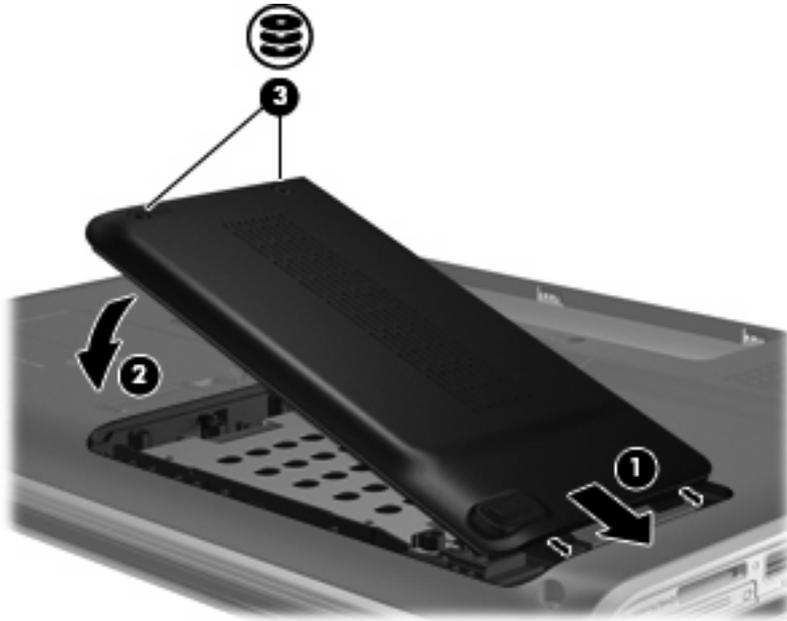


3. ハードドライブの3つのネジを取り付けます。



4. ハードドライブ カバーのタブ (1) を、コンピューターのかぼみに合わせます。
5. メモリ モジュール コンパートメント カバーを閉じます (2)。

6. ハードドライブ カバーのネジ (3) を締めます。



## SmartBay のドライブの交換

SmartBay には、オプティカル ドライブまたはハードドライブのどちらかを格納できます。

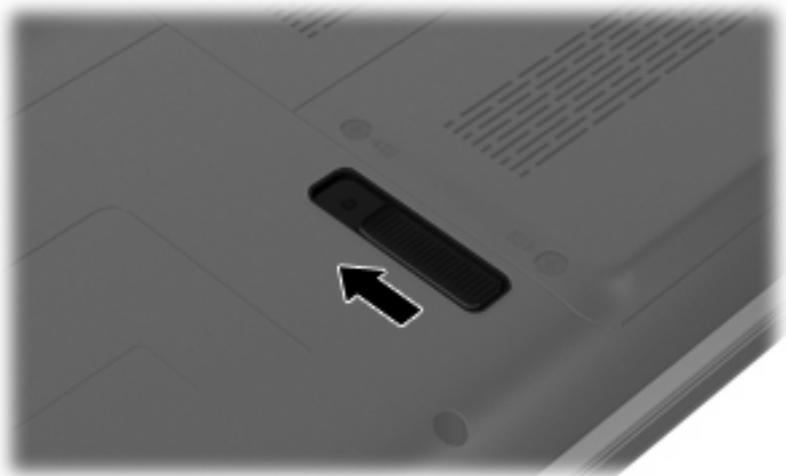
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

SmartBay からドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

SmartBay からドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. SmartBay のリリース ラッチをスライドさせて、ドライブの固定を解除します。



8. ドライブを SmartBay ベイから取り出します。



ドライブを SmartBay に挿入するには、以下の操作を行います。

- ▲ ドライブを SmartBay に挿入し、確実に収まるまで押し込みます。



## 10 外付けデバイス

### USB (Universal Serial Bus) デバイスの使用

USB (Universal Serial Bus) コネクタを使用して、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを、コンピューターまたは別売の拡張製品に接続します。

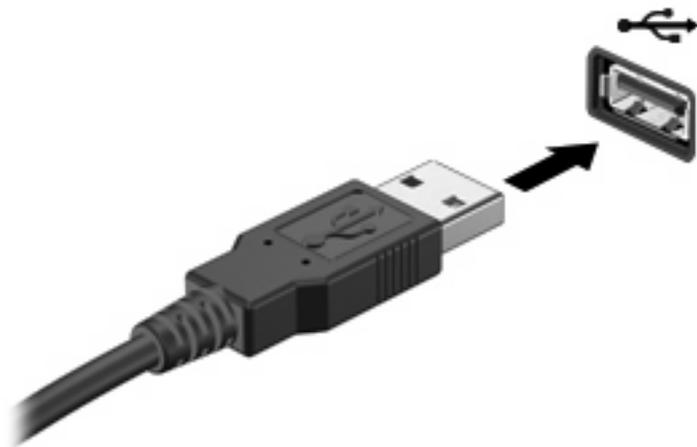
USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

コンピューターには3つのUSBコネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、およびUSB 2.0の各デバイスに対応しています。USBコネクタをさらに追加するには、別売のハブまたは別売の拡張製品を取り付けます。

### USB デバイスの接続

△ **注意：** USBコネクタの損傷を防ぐため、USBデバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ USBデバイスをコンピューターに接続するには、デバイスのUSBケーブルをUSBコネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

☒ **注記：** USBデバイスを初めて接続した場合は、タスクバーの右端の通知領域に[デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています]というメッセージが表示されます。

## USB デバイスの取り外し

- △ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。

**注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

☞ **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

☞ **注記：** デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. デバイスを取り外します。

## eSATA デバイスの使用

eSATA コネクタを使用して、eSATA 外部ハードドライブなどの別売の外付けデバイスを、高性能な eSATA コンポーネントに接続します。

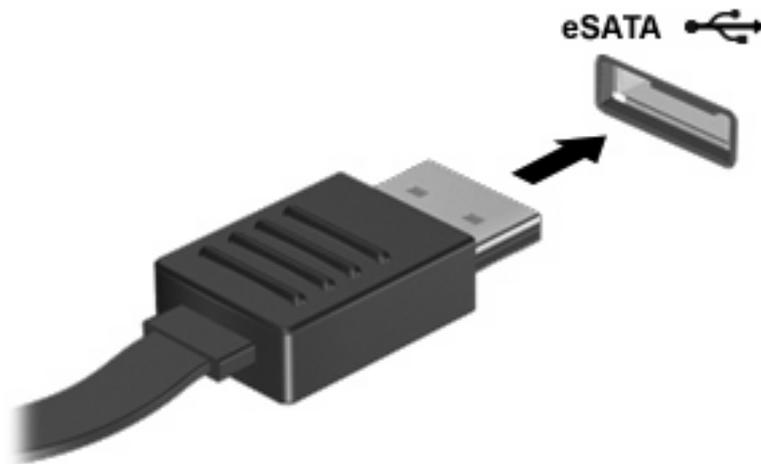
eSATA デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、製造元の操作説明書を参照してください。

 **注記：** eSATA コネクタは、別売の USB デバイスもサポートしています。

## eSATA デバイスの接続

△ **注意：** eSATA コネクタの損傷を防ぐため、eSATA デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ eSATA デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを eSATA コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

## eSATA デバイスの取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って eSATA デバイスを安全に取り外します。

**注意：** eSATA コネクタの損傷を防ぐため、eSATA デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

eSATA デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

☞ **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

☞ **注記：** デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. デバイスを取り外します。

## 拡張ポートの使用

拡張ポートは、コンピューターを別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品に接続するために使用します。これによって、コンピューターで使用できるポートおよびコネクタが追加されます。

☞ **注記：** お使いのコンピューターにある拡張ポートは1つのみです。「拡張ポート 3 (expansion port 3)」という用語は、拡張ポートの種類を表します。



---

# 11 外付けメディア カード

## メディア カードの使用

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタル メディア対応のカメラやPDAなどでよく使用されます。

お使いのコンピューターのメディア カード スロットは、以下のフォーマットのメディア カードに対応しています。

- メモリースティック (MS)
- メモリースティック PRO (MSPro)
- マルチメディアカード (MMC)
- SD (Secure Digital) メモリ カード
- xD ピクチャーカード (XD)

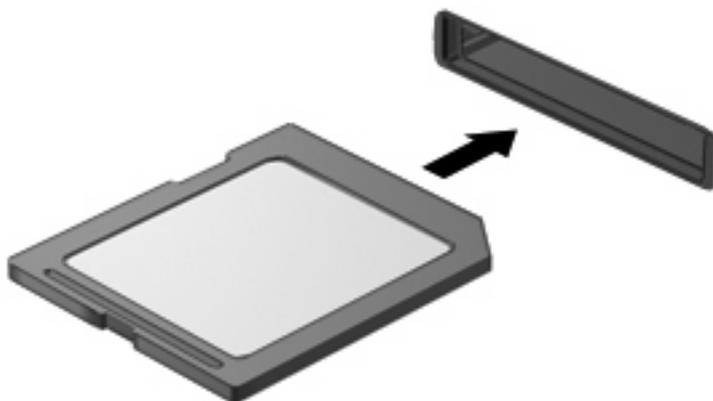
## メディア カードの挿入

△ **注意：** メディア カードまたはコンピューターの損傷を防ぐため、メディア スロットにはどのような種類のアダプターも挿入しないでください。

**注意：** メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードの挿入時に必要以上の力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。

2. メディア スロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

## メディア カードの取り出し

- △ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディア カードを安全に取り出します。

情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

- ☞ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピーしています]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

メディア カードを取り出すには、以下の操作を行います。

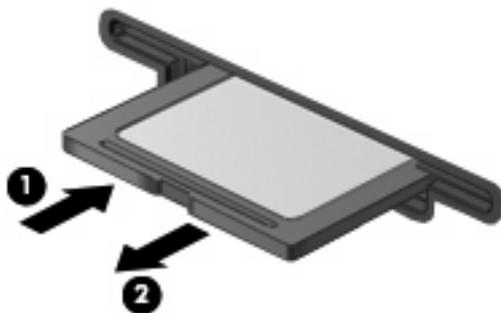
1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

- ☞ **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からメディア カード名をクリックします。

- ☞ **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. メディア カードを押して固定を解除し (1)、カードを引いてスロットから取り出します (2)。



## ExpressCard の使用

ExpressCard は、ExpressCard スロットに挿入する高性能な PC カードです。

標準の PC カードと同様に、ExpressCard は PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) の仕様に準拠しています。

## ExpressCard の設定

デバイスに必要なソフトウェアのみをインストールしてください。ExpressCard に付属の説明書にデバイス ドライバーをインストールするように記載されている場合は、以下のようにします。

- お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバーだけをインストールしてください。
- ExpressCard の製造販売元が他のソフトウェア (カード サービス、ソケット サービス、イネーブラーなど) を提供していても、それらをインストールしないでください。

## ExpressCard の挿入

△ **注意:** お使いのコンピューターおよび外付けメディア カードの損傷を防ぐため、PC カードを ExpressCard スロットに挿入しないでください。

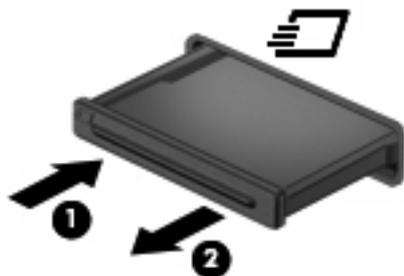
**注意:** PC カードコネクタの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

ExpressCard を挿入するときには、必要以上の力を加えないでください。

ExpressCard が挿入されているときは、コンピューターを動かしたり移動したりしないでください。

ExpressCard スロットには保護用カードが挿入されている場合があります。保護用カードを取り出すには、以下の操作を行います。

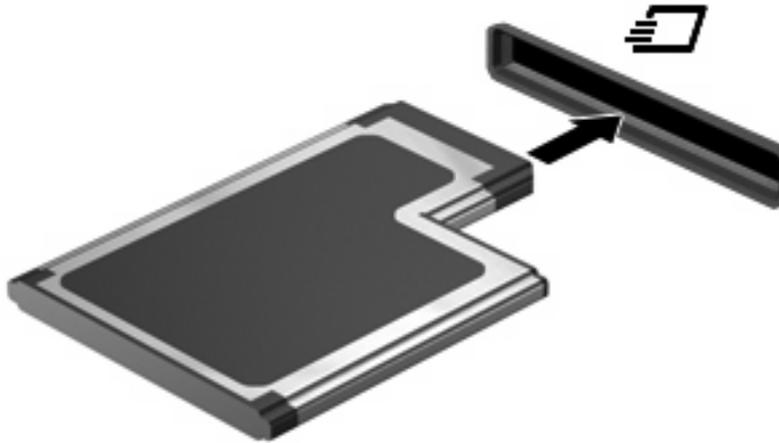
1. 保護用カードを押し込んで (1)、固定を解除します。
2. 保護用カードをスロットから引き出します (2)。



ExpressCard を挿入するには、以下の操作を行います。

1. カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。

2. カードを ExpressCard スロットに挿入し、しっかり収まるまでカードを押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

 **注記：** 初めて ExpressCard を挿入した場合は、タスクバーの右端の通知領域に[デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています]というメッセージが表示されます。

 **注記：** 装着されている ExpressCard は、使用されていなくても電力を消費します。節電するには、使用していない ExpressCard を停止するか、取り出してください。

## ExpressCard の取り出し

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って ExpressCard を安全に取り出します。

情報を保存し、ExpressCard に関連するすべてのプログラムを閉じます。

☞ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピーしています]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

ExpressCard を取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

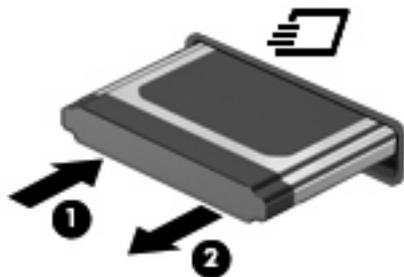
☞ **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧から ExpressCard の名前をクリックします。

☞ **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. ExpressCard の固定を解除して取り外すには、以下の操作を行います。

- a. ExpressCard をゆっくりと押して (1)、固定を解除します。
- b. ExpressCard をスロットから引き出します (2)。



## 12 メモリ モジュール

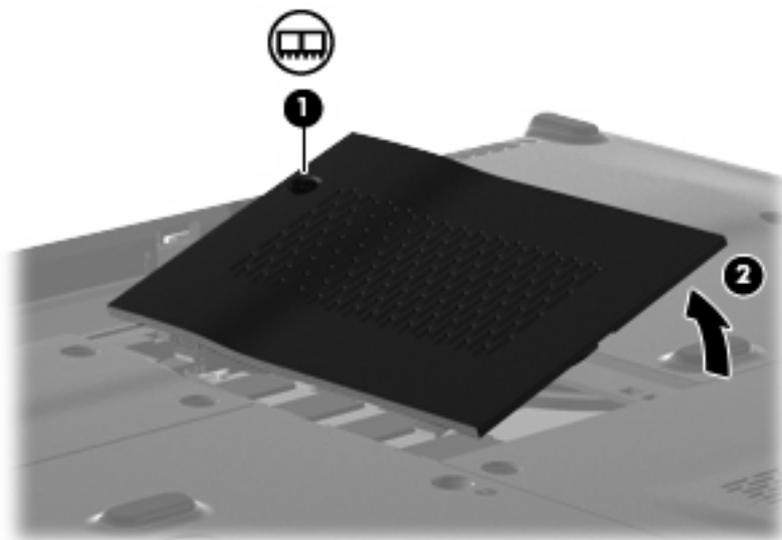
お使いのコンピューターには、1つのメモリ モジュール コンパートメントが本体の裏面に装備されています。コンピューターのメモリ容量を増設するには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリーを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。
- △ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。
- 📖 **注記：** 2つめのメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2つのメモリ モジュールを必ず同じ種類、同じ速度にしてください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。  
  
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. メモリ モジュール コンパートメントのネジ (1) を緩めます。

8. メモリ モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて取り外します (2)。



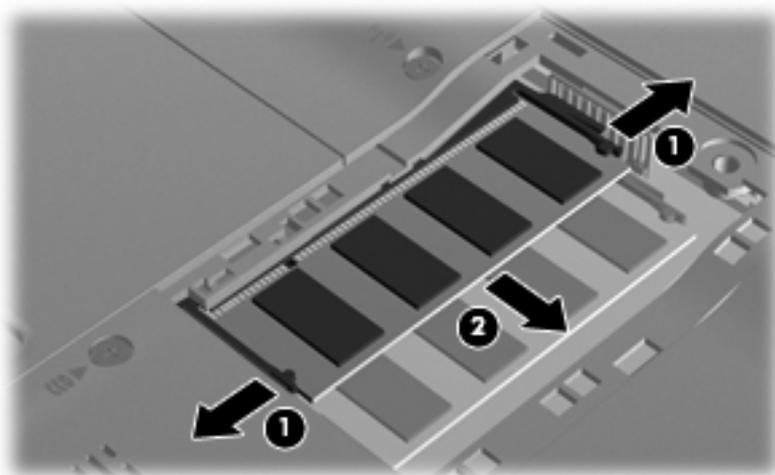
9. メモリ モジュールを交換する場合は、装着されているメモリ モジュールを取り外します。

- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。

メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

- b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

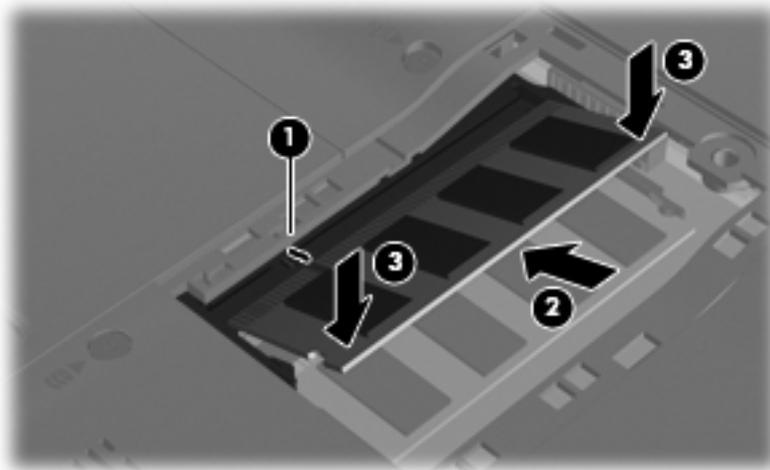


取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

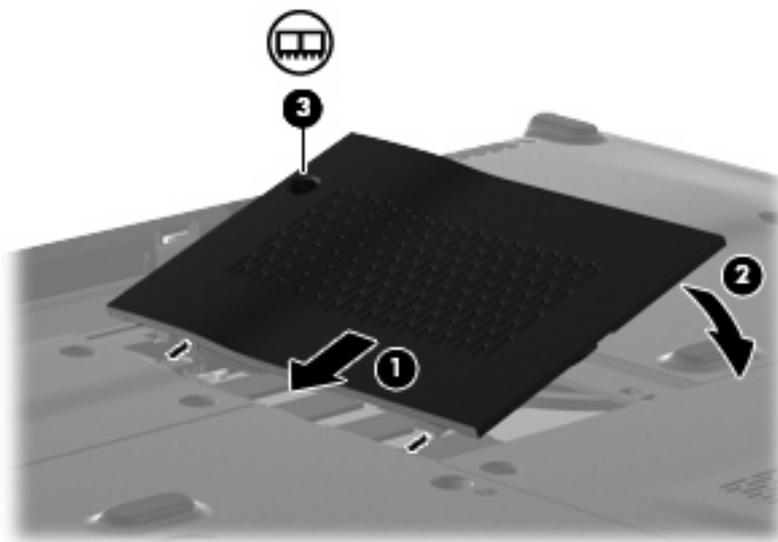
10. 以下の要領で、新しいメモリ モジュールを取り付けます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。
- b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。
- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます (3)。



11. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます (1)。
12. カバーを閉じます (2)。
13. メモリ モジュール コンパートメントのネジ (3) を締めます。



14. バッテリーを取り付けなおします。

15. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
16. コンピューターの電源を入れます。

# 13 セキュリティ

## コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

このガイドに記載されている手順を実行して、以下の機能を使用します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォール ソフトウェア
- 緊急セキュリティ アップデート
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル
- 指紋認証システム（一部のモデルのみ）

 **注記：** セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

**注記：** コンピューターをサポートあてに送付する場合は、事前にすべてのパスワードと指紋設定を削除してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	<ul style="list-style-type: none"><li>● QuickLock</li><li>● 電源投入時パスワード</li></ul>
コンピューター ウィルス	[Norton Internet Security]ソフトウェア
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"><li>● ファイアウォール ソフトウェア</li><li>● Windows Update</li></ul>
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	管理者パスワード
コンピューターへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

## パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を守るために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows や セットアップ ユーティリティ (Windows が起動する前に機能する、プリインストールされたユーティリティ) で設定できます。

- △ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップ ユーティリティ機能と Windows セキュリティ機能の両方で同じパスワードを使用できます。複数のセットアップ ユーティリティ機能で同じパスワードを使用できます。

セットアップ ユーティリティでパスワードを設定する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップ ユーティリティで設定するパスワードは、セットアップ ユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップ ユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーン セーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

## Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します
	<b>注記：</b> このパスワードは、セットアップ ユーティリティのデータへのアクセスには使用できません

パスワード	機能
ユーザー パスワード	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します。コンピューターのデータへのアクセスも保護します。スリープまたはハイバネーションを終了するときに入力する必要があります
QuickLock	<p>コンピューターにアクセスする前に Windows の[ログオン]ダイアログ ボックスにパスワードを入力するように要求することによって、コンピューターを保護します。ユーザーまたは管理者パスワードを設定した後は、以下の操作を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>fn + f6</b> キーを押して QuickLock を起動します</li> <li>2. Windows のユーザー パスワードまたは管理者パスワードを入力して QuickLock を終了します</li> </ol>

## セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セットアップ ユーティリティへのアクセスを保護します</li> <li>● パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります</li> </ul> <p><b>注意：</b> 管理者パスワードを忘れた場合は、セットアップ ユーティリティにアクセスできません</p>
電源投入時パスワード*	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピューターのデータへのアクセスを保護します</li> <li>● パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。</li> </ul> <p><b>注意：</b> 電源投入時パスワードを忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります</p>

\*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。

### 管理者パスワード

管理者パスワードを設定すると、セットアップ ユーティリティのコンフィギュレーション設定とシステム識別情報が保護されます。パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

その管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管してください。

## 管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して[**Security**] (セキュリティ) →[**Set Administrator Password**] (管理者パスワードの設定) の順に選択し、**enter** キーを押します。
  - 管理者パスワードを設定するには、[**Enter New Password**] (新しいパスワードの入力) および[**Confirm New Password**] (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
  - 管理者パスワードを変更するには、[**Enter Current Password**] (現在のパスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、[**Enter New Password**] および[**Confirm New Password**] フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
  - 管理者パスワードを削除するには、[**Enter Password**] (パスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[**Exit**] (終了) →[**Exit Saving Changes**] (変更を保存して終了) の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

## 管理者パスワードの入力

[**Enter Password**] (パスワードの入力) 画面が表示されたらに、管理者パスワードを入力して **enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して管理者パスワードを入力しなおす必要があります。

## 電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、コンピューターの不正使用を防ぎます。パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードは、設定、入力、変更、および削除するときには表示されません。

## 電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して[**Security**] (セキュリティ) →[**Set Power-On Password**] (電源投入時パスワードの設定) の順に選択し、**enter** キーを押します。
  - 電源投入時パスワードを設定するには、[**Enter New Password**] (新しいパスワードの入力) および[**Confirm New Password**] (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
  - 電源投入時パスワードを変更するには[**Enter Current Password**] (現在のパスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、[**Enter New Password**] および[**Confirm New Password**] フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
  - 電源投入時パスワードを削除するには、[**Enter Current Password**] フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを4回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[**Exit**] (終了) →[**Exit Saving Changes**] (変更を保存して終了) の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

## 電源投入時パスワードの入力

[**Enter Password**] (パスワードの入力) 画面が表示されたらパスワードを入力して **enter** キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して電源投入時パスワードを入力しなおす必要があります。

## ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには、ウイルス対策プログラムとして[Norton Internet Security]がプリインストールされています。ソフトウェアには 60 日間の無料更新サービスが含まれています。延長更新サービスを購入し、60 日以後も新しいウイルスからコンピューターを保護することを強くおすすめします。[Norton Internet Security]ソフトウェアの使用と更新、および延長更新サービスの購入の手順は、プログラム内から参照できます。[Norton Internet Security]を表示しアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]**の順に選択します。

コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウイルス」と入力してください。

## ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

 **注記：** 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

## 緊急セキュリティ アップデートのインストール

△ **注意：** Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピュータをセキュリティの侵害やコンピュータ ウィルスから保護するため、通知があった場合はただちに Microsoft 社からのすべての緊急アップデートをインストールしてください。

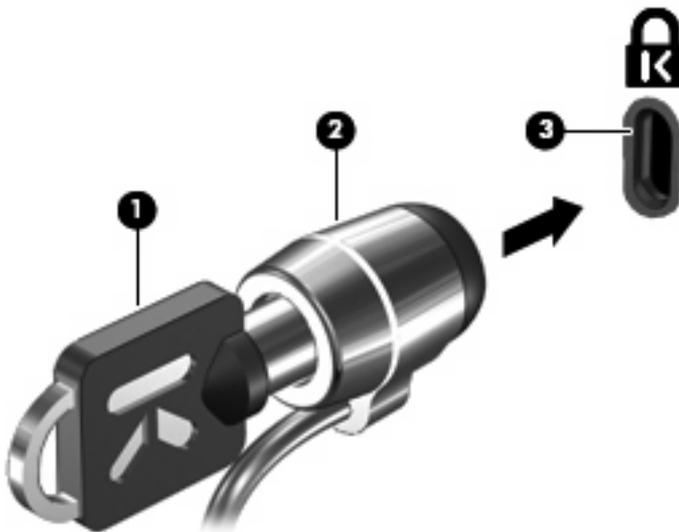
オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピュータの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピュータにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したらすぐに Windows Update を実行します。[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順に選択すると表示されるアップデートリンクを使用します。
- [Windows Update]は毎月実行してください。
- Windows およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされるたびに、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

## 別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続

📖 **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピュータの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵 (1) をケーブル ロック (2) に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピュータのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵をかけます。



📖 **注記：** セキュリティ ロック ケーブル用スロットの位置は、コンピュータのモデルによって異なります。

## 指紋認証システムの使用（一部のモデルのみ）

📖 **注記：** 指紋認証システムの位置は、コンピューターのモデルによって異なります。



### 指紋認証システムの位置

指紋認証システムは小さい金属製センサーで、コンピューターの以下のどれかの場所にあります。

- タッチパッドの下部付近
- キーボードの右側
- ディスプレイの右上
- ディスプレイの左側

コンピューターのモデルによって、指紋認証システムは横向きの場合も縦向きの場合もあります。どちらの向きでも、金属製センサーと垂直に指を滑らせる必要があります。



## 指紋の登録

指紋認証システムでは、Windows のパスワードの代わりに[DigitalPersona Personal]ソフトウェアで登録しておいた指紋を使用して、Windows にログオンできます。

1 つ以上の指紋を登録するには、以下の操作を行います。

1. Windows で、タスクバーの右端の通知領域にある **[DigitalPersona Personal]** アイコンをクリックします。
2. 起動時のテキストが表示されたら確認し、**[Next]**（次へ）をクリックします。  
[Verify Your Identity]（ユーザー情報の認証）ページが開きます。
3. Windows のパスワード（設定されている場合）を入力してから、**[Next]** をクリックします。

 **注記：** Windows パスワードを設定していない場合、[Protect Your Windows Account]（Windows アカountの保護）ページが開きます。ここで Windows パスワードを作成することも、**[Next]** をクリックしてこの手順をスキップすることもできます。ただし、Windows のパスワードを設定することで、お使いのコンピューターのセキュリティ機能を最大限に活用できません。

[Fingerprint Registration Training]（指紋の登録の練習）ページが開きます。

4. デモ画面が表示されたら、**[Next]** をクリックします。  
[指紋の登録]ページが開きます。
5. 登録する指に対応する画面上の指をクリックします。  
次のページが表示されて、クリックした指の輪郭が緑色になります。
6. 選択した指を指紋センサーに押し当てて、ゆっくりと滑らせます。

 **注記：** 押し当てが正しく完了しないと、押し当てが成功しなかった理由を説明するメッセージが表示されます。

**注記：** 良好な結果を得るため、指紋認証システムを使用するたびに同じ指を同じ方向に滑らせてください。

7. 押し当てに 4 回成功するまで、同じ指の押し当てを繰り返します。  
指紋が正しく登録されると、[Register a Fingerprint]ページが再度開き、さらに指紋を登録できるようになります。さらに指紋を登録するには、手順 5～7 を繰り返します。
8. 指紋の登録を終了する場合は、**[Next]** をクリックします。

指紋を 1 つしか登録していない場合、さらに指紋を登録することを推奨するメッセージが表示されます。さらに指紋を登録する場合は、**[Yes]**（はい）をクリックし、手順 1 から 8 を登録する指紋ごとに繰り返します。

または

追加で指紋を登録しない場合は、**[No]**（いいえ）をクリックします。[Registration Complete]（指紋の登録完了）ページが開きます。

9. **[完了]** をクリックします。

 **注記：** 個々のユーザーが指紋認証を使用してコンピューターにアクセスする場合は、ユーザーごとに手順 1～9 の操作を繰り返す必要があります。

## 登録された指紋を使用した Windows へのログオン

登録した指紋を使用して Windows にログオンするには、以下の操作を行います。

1. 指紋を登録したらすぐに Windows を再起動します。
2. 登録した指のどれかを使用して Windows にログオンします。

# A セットアップ ユーティリティ (BIOS)

## セットアップ ユーティリティの開始

セットアップ ユーティリティは ROM ベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windows オペレーティング システムが動作しない場合にも使用できます。

 **注記：** 指紋認証システム（一部のモデルのみ）は、セットアップ ユーティリティへのアクセスには使用できません。

ユーティリティはコンピューターに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップ ユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。
2. [Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

# セットアップ ユーティリティの使用

## セットアップ ユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[System Configuration]** (システム コンフィギュレーション) → **[Language]** (言語) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、**enter** キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、**enter** キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

## セットアップ ユーティリティでの移動および選択

セットアップ ユーティリティは Windows ベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、**f5** キーまたは **f6** キーを使用します。
- 項目を選択するには、**enter** キーを押します。
- テキスト ボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、**esc** キーを押します。
- セットアップ ユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、**f1** キーを押します。

## システム情報の表示

セットアップ ユーティリティを使用すると、システム時刻および日付などの情報やコンピューターの識別情報を表示できます。以下の手順では、これらの情報を表示する方法について説明します。

セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. **[Main]** (メイン) メニューを選択します。
3. 設定を変更しないでセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]** (終了) → **[Exit Discarding Changes]** (変更を取り消して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

## セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[Exit]** (終了) → **[Load Setup Defaults]** (初期設定値をロードする) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、**enter** キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]** → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップ ユーティリティの初期設定値は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

 **注記：** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

## セットアップ ユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップ ユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

どちらかを選択すると、コンピューターが再起動され Windows が起動します。

## セットアップ ユーティリティのメニュー

このセクションのメニューの表に、セットアップ ユーティリティのオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されているセットアップ ユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

### [Main] (メイン) メニュー

選択	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none"><li>● システム時刻および日付を表示したり変更したりします</li><li>● コンピューターの識別情報を表示します</li><li>● プロセッサ、メモリ サイズ、システム BIOS、およびキーボードコントローラーのバージョン (一部のモデルのみ) の仕様情報を表示します</li></ul>

### [Security] (セキュリティ) メニュー

選択	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

## [System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

選択	設定内容
Language Support (対応言語)	セットアップ ユーティリティの言語を変更します
Button Sound (ボタン音) (一部のモデルのみ)	容量性ボタンのタップ音をオンまたはオフにします
Virtualization Technology (仮想化テクノロジー) (一部のモデルのみ)	仮想化テクノロジーを有効/無効にします
Processor C6 State (プロセッサ C6 ステート) (一部のモデルのみ)	プロセッサ C6 のスリープ状態を有効/無効にします
LAN Power Saving (LAN 省電力) (一部モデルのみ)	LAN 省電力を有効または無効にします。有効の場合、コンピューターのバッテリー動作時に省電力動作を行います
Card Reader/1394 Power Saving (カード リーダー/1394 省電力) (一部モデルのみ)	カード リーダー/1394 の省電力モードを有効/無効にします。
Fan Always On (ファンを常にオン)	ファンを常にオンにしておくかどうかを切り替えます。有効の場合、コンピューターのファンが常にオンになります
Boot Options (ブート オプション)	以下のブート オプションを設定します <ul style="list-style-type: none"><li>POST (power-on self test) f10 and f12 Delay (sec.) (POST (電源投入時自己診断テスト) f10 および f12 の遅延 (秒)) : セットアップ ユーティリティの f10 および f12 機能の遅延 (キー入力を待つ時間) を、5 秒間隔 (0、5、10、15、20) で設定します</li><li>HP QuickWeb : POST 中の[HP QuickWeb]ブート メニューを有効/無効にします<ul style="list-style-type: none"><li>Delay to boot Windows (Windows 起動遅延) : [HP QuickWeb]ブート メニューの起動遅延を、2、3、5、10、15、または 30 秒間に設定します</li></ul></li><li>CD-ROM Boot (CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブからのブート) : CD-ROM からのブートを有効/無効にします</li><li>Floppy Boot (フロッピーディスク ドライブからのブート) : フロッピーディスクからのブートを有効/無効にします</li><li>Internal Network Adapter Boot (内蔵ネットワーク アダプターブート) : 内蔵ネットワーク アダプターからのブートを有効/無効にします</li><li>Boot Order (ブート順序) : 以下のブート順序を設定します<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューター本体のハードドライブ</li><li>内蔵 CD/DVD ROM ドライブ</li><li>USB メモリ上のドライブ/USB ハードドライブ</li><li>USB CD/DVD ROM ドライブ</li><li>USB フロッピー</li><li>ネットワーク アダプター</li></ul></li></ul>

## [Diagnostics] (診断) メニュー

選択	設定内容
Primary Hard Disk Self Test (プライマリ ハードドライブの自己診断)	ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Secondary Hard Disk Self Test (セカンダリ ハードドライブの自己診断) (一部のモデルのみ)	セカンダリ ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test (メモリ テスト)	システム メモリの診断テストを実行します

## B ソフトウェア アップデート

HP の Web サイトから、コンピューターに付属するソフトウェアの更新版を入手できます。

HP の Web サイトには、多くのソフトウェアおよび BIOS アップデートが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、このファイルのインストールやトラブルシューティングに関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

ソフトウェアを更新するには、このガイドで説明する作業を以下の順序で行います。

1. お使いのモデルのコンピューター、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリーを確認します。コンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。

コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

 **注記：** コンピューターのシステム BIOS は、システム ROM に格納されています。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピューターとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

**注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2. HP の Web サイト (<http://www.hp.com/jp/>) の[ドライバー&ソフトウェア ダウンロード]から、お使いの製品の情報にアクセスします。
3. アップデートをインストールします。

## BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

### BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（ROM の日付またはシステム BIOS と呼ばれます）を表示するには、**fn + esc** キーを押す（Windows を起動している場合）か、セットアップ ユーティリティを使用します。

セットアップ ユーティリティを使用して BIOS の情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して **[Main]**（メイン）メニューを選択します。  
[Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。
3. セットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]**（終了）→ **[Exit Discarding Changes]**（変更を取り消して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

## BIOS アップデートのダウンロード

- △ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは、必ず AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。  
**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[Maintain]**（メンテナンス）→**[ソフトウェアの更新]**の順に選択します。
2. 画面の説明に沿ってお使いのコンピューターを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートを表示します。
3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。
  - a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
  - b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。  
BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

- 📖 **注記：** コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択して、Windows の**[エクスプローラー]**を開きます。
2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク (C:) を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。

BIOS のインストールが開始されます。

5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

BIOS が正しく更新されたら、コンピューターは自動的にシャットダウンします。

---

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

---

## プログラムとドライバーの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. Web ブラウザーを開いて、<http://www.hp.com/support/>を表示し、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力して、**enter** キーを押します。

または

特定の SoftPaq が必要な場合は、[製品名・番号で検索]フィールドに SoftPaq 番号を入力し、**enter** キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。

3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. お使いのオペレーティング システムを選択します。
5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. 更新されたドライバーをインストールするには、[ダウンロードを開始する]をクリックします。

 **注記：** 地域によっては、ドライバーをダウンロードして、後でインストールすることもできます。その場合は、[Download only] (ダウンロードのみ) をクリックして、コンピューターにファイルを保存します。メッセージが表示されたら、[保存]をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。ファイルのダウンロードが終了したらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。

7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

## C バックアップおよび復元

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成することをおすすめします。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。

- リカバリ ディスクを作成します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。システムに障害が発生した場合または動作が不安定になった場合に、リカバリ ディスクを使用して、お使いのコンピューターを起動 (ブート) し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。
- 重要なシステムファイルを保護するために定期的に情報をバック アップします。
- システムの復元ポイントを作成します (オペレーティング システムの機能)。システムの復元ポイントを使用すると、以前の状態までコンピューターを復元することで、コンピューターへの望ましくない変更を元に戻すことができます。
- プログラムまたはドライバーを復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。この機能は、システム全体の復元を実行しないでプログラムまたはドライバーを再インストールするために役立ちます。
- システム全体を復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。[HP Recovery Manager]を使用すると、システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。[HP Recovery Manager]は、ハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) またはユーザーが作成したリカバリ ディスクから実行できます。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。復元用パーティションの有無を確認するには、**[スタート]**を選択し、**[コンピューター]**を右クリックして**[管理]**→**[ディスクの管理]**の順にクリックします。復元用パーティションがある場合、ウィンドウに HP リカバリ ドライブが表示されます。

## リカバリ ディスクの作成

システムに重大な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。

 **注記：** お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが搭載されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。

リカバリ ディスクを作成するには、事前に以下のガイドラインを確認してください。

- 高品質な DVD-R、DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイ ディスク）、または CD-R ディスクを用意する必要があります。これらのディスクは、すべて別売です。DVD および BD には、CD よりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CD を使用すると最大 20 枚のディスクが必要になる場合でも、DVD または BD では数枚のみで済みます。

 **注記：** [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアは、CD-RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。
- オプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておいてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、ディスク作成プロセスを続行するか尋ねられます。

リカバリ ディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャー）→[Recovery Disc Creation]（リカバリ ディスク作成）の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

## 情報のバックアップ

新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻

 **注記：** 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくで時間を節約できます。

画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

1. 画面を表示します。
2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。  
アクティブなウィンドウのみをコピーするには、**alt + fn + prt sc** キーを押します。  
画面全体をコピーするには、**fn + prt sc** キーを押します。
3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[編集]→[貼り付け]の順に選択します。
4. 文書を保存します。

- 情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。
- ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD-R、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。

 **注記：** DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。

- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。

## Windows の[バックアップと復元]の使用

Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

 **注記：** お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

**注記：** ファイルのサイズやコンピューターの処理速度に応じて、バックアップ処理には 1 時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを設定および作成します。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

## システムの復元ポイントの使用

システムをバックアップする場合は、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。復元ポイント作成後にシステムに加えた変更を破棄したい場合に、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

 **注記：** 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルおよび設定の保護を強化できます。

### 復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

 **注記：** 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

### システムの復元ポイントの作成

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [保護設定]の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. [作成]をクリックします。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

### 以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [システムの復元]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

## 復元の実行

 **注記：** ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピューターをセットアップしたらずに、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) を使用してリカバリ ディスクのセット (ドライブ全体のバックアップ) を作成することをおすすめします。

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスクまたはハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) から実行できます。ただし、お使いのコンピューターにSSD (Solid State Drive) が搭載されている場合、復元用パーティションがない可能性があります。その場合、コンピューターにはリカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

 **注記：** Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。

**注記：** [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

### リカバリ ディスクからの復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

### 専用の復元用パーティションからの復元 (一部のモデルのみ)

 **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。コンピューターに復元用パーティションがない場合は、以下の手順による復元はできません。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

一部のモデルでは、[スタート]ボタンをクリックするか、**f11** キーを押して、ハードドライブ上のパーティションから復元を実行できます。この操作によって、コンピューターが工場出荷時の状態に戻ります。

復元用パーティションからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）にアクセスします。
  - [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャー）→[Recovery Manager]の順に選択します。  
または
  - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。次に、[Press <F11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、**f11** キーを押します。
2. [Recovery Manager]ウィンドウの[System Recovery]（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

# 索引

□□/□□

1394 省電力 145

## A

AC アダプター

位置 15

接続 86

テスト 87

Administrator password (管理者パスワード) 144

## B

BIOS、更新 148

Bluetooth

デバイス 17, 27

ラベル 16

Boot Options (ブート オプション) 145

## C

Caps Lock ランプ、位置 5

CD

コピー 105

再生 103

ドライブ 101, 108

取り出し 107

Certificate of Authenticity ラベル 16

## D

[Diagnostics] (診断) メニュー 146

DVD

コピー 105

再生 103

地域設定 104

地域設定の変更 104

ドライブ 101, 108

取り出し 107

DVD ボタン 67, 76

## E

eSATA/USB コネクタ、位置 12, 120

eSATA ケーブル、接続 120

eSATA デバイス

接続 120

取り外し 121

esc キー、位置 8

ExpressCard

設定 124

挿入 124

停止 126

取り出し 126

保護用カードの取り出し 124

ExpressCard スロット、位置 12, 124

## F

f11 157, 158

fn キー

位置 8, 39

## H

HDMI 12, 41, 56

HD 対応デバイス、接続 56

[HP Battery Check] 88

[HP Connection Manager] アイコン 18

[HP Connection Manager] ソフトウェア 20

HP MediaSmart 66, 73

[HP MediaSmart] ソフトウェア

起動 49, 52

使用 52

HP ProtectSmart Hard Drive Protection 110

HP QuickWeb

使用 1

セットアップ ユーティリティ 145

[HP Wireless Assistant] ソフトウェア 18, 19

HP モバイル ブロードバンド モジュール 24, 25

## L

LAN 省電力 145

## M

[Main] (メイン) メニュー 144

MediaSmart ボタン 67, 75

Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 16

## N

Num Lock、外付けテンキー 45

Num Lock ランプ、位置 6, 44

## O

OK ボタン 68, 74

## P

Processor C6 State (プロセッサ C6 ステート) 145

## Q

QuickLock

ホットキー 42

## R

Recovery Manager 152, 157

RJ-11 (モデム) コネクタ、位置 11

RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、位置 12

- S**
- [Security] (セキュリティ) メニュー 144
- SIM
  - 装着 25
  - 取り出し 26
- SIM スロット、位置 13
- SIM ラベル 16
- SmartBay
  - 位置 11
  - ドライブの交換 116
  - ドライブの挿入 116
- SmartBay リリース ラッチ、位置 13
- SSD (Solid State Drive) 152, 157
- [System Configuration] (システムコンフィギュレーション) メニュー 145
- S ビデオ 41
  
- T**
- Teletext ボタン 76
  
- U**
- USB ケーブル、接続 118
- USB コネクタ
  - 位置 11, 12
  - 確認 118
- USB デバイス
  - 接続 118
  - 説明 118
  - 取り外し 119
- USB ハブ 118
  
- V**
- Virtualization Technology (仮想化テクノロジー) 145
  
- W**
- Web カメラ
  - 位置 9, 48
  - 使用 59
- Web カメラ ランプ、位置 9, 48
- Web ブラウザー ホットキー 41
- Windows Media Center ボタン 67, 76
- Windows アプリケーション キー、位置 8
- Windows、設定するパスワード 132
- Windows ロゴ キー、位置 8
  
- 
- アイコン
  - HP Connection Manager 18
  - ネットワーク 18, 29
  - 無線 18
  - 有線ネットワーク 18
- アプリケーション キー、Windows 8
- 暗号化 22
- アンテナ 14
  
- 
- イヤフォン 48
- [印刷オプション]ウィンドウ ホットキー 41
- 印刷ボタン 75
- インターネット接続のセットアップ 21
  
- 
- ウィルス対策ソフトウェア 136
- 上ボタン 68
  
- 
- オーディオ機能
  - 確認 54
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ
  - 位置 10, 48
- オーディオ デバイス、外部接続 54
- オーディオ入力 (マイク) コネクタ
  - 位置 10, 48
- オプティカル ディスク
  - CD-R 102
  - CD-RW 102
  - DVD±R 102
  - DVD±RW 102
  - LightScribe DVD+R 103
  - 使用 101
  - 取り出し 107
  - ブルーレイ ディスク 103
- オプティカル ドライブ 100
  
- オペレーティング システム
  - Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 16
  - プロダクト キー 16
- 温度 95
- 音量上げボタン 69, 74
- 音量上げランプ、位置 5
- 音量下げボタン 50, 69, 74
- 音量下げランプ、位置 5
- 音量、調整 50
- 音量調整スライダー
  - 位置 7
  
- 
- カード リーダー省電力 145
- ガイド ボタン 74
- 書き込み可能メディア 80
- 拡張ポート、位置 12, 121
- 確認、オーディオ機能 54
- 各部
  - 前面 10
  - その他のハードウェア 15
  - 背面 10
  - 左側面 12
  - 表面 4
  - 右側面 11
  - 裏面 13
- 各国仕様のモデム ケーブル アダプター 33
- 画面、切り替え 41
- 画面切り替えボタン 67, 75
- 画面の輝度ホットキー 42
- 干渉、最小化 30
- 完全なロー バッテリー状態 91
- 管理者パスワード
  - 管理 134
  - 作成 134
  - 入力 134
  
- 
- キー
  - esc 8
  - fn 8
  - Windows アプリケーション 8
  - Windows ロゴ 8
  - テンキー 8
  - ファンクション 8
- キーボード ホットキー、位置と名称 39
- 企業無線 LAN への接続 23

## 規定情報

- 規定ラベル 16
- 無線認定/認証ラベル 16
- モデム認定/認証ラベル 16
- 切り替え可能なグラフィックス 84
- 緊急アップデート、ソフトウェア 137
- 
- 空港のセキュリティ装置 99
- グラフィックス モード、切り替え 84
- 
- ケーブル
- eSATA 120
- LAN 36
- USB 118
- セキュリティ 137
- モデム 32
- 
- 公共無線 LAN への接続 23
- コード、電源 15
- コネクタ
- eSATA/USB 12
- HDMI 12, 56
- RJ-11 (モデム) 11
- RJ-45 (ネットワーク) 12
- USB 11, 12, 118
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) 10, 48
- オーディオ入力 (マイク) 10, 48
- 外付けモニター 12, 55
- テレビ アンテナ/ケーブル 11, 48
- 電源 11
- コンパートメント
- ミニ カード 13
- メモリ モジュール 13
- コンピューター
- 電源切断 97
- コンピューターの持ち運び
- 無線認定/認証ラベル 16
- モデム認定/認証ラベル 16
- コンポジット ビデオ 41

- 
- サービス タグ 16
- 再生/一時停止ボタン 68, 75
- サポートされるディスク 153
- 左右のタッチパッド ボタン、位置 37
- 
- システム情報 144
- システム情報の表示 142
- システム情報のホットキー 40
- システム全体の復元 152
- システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合 152
- システムの応答停止 97
- システムの復元 157
- システムの復元の使用 156
- システム復元ポイント 152, 156
- 下ボタン 69
- 視聴、テレビ 58
- 実行、復元 157
- 自動再生 104
- 指紋認証システム、位置 8, 138
- 指紋の登録 139
- シャットダウン 97
- 消去ボタン 75
- 情報ボタン 69, 76
- 初期設定の復元 143
- シリアル番号、コンピューター 16
- 
- ズーム ボタン 75
- スクロール ゾーン、タッチパッド 4, 37
- スナップショット ボタン 75
- スピーカー
- 位置 7
- スピーカー、位置 48
- スリープ
- 起動 80
- 終了 80
- ホットキー 42
- スロット
- ExpressCard 12
- SIM 13
- セキュリティ ロック ケーブル用 12
- メディア 12
- メモリ モジュール 13

- 
- 製品名および製品番号、コンピューター 16
- セカンダリ ハードドライブの自己診断 146
- 赤外線レンズ (リモコン受光部) 66, 73
- 赤外線レンズ (リモコン受光部)、位置 10
- セキュリティ
- 機能 131
- パスワード 132
- セキュリティ、無線 22
- セキュリティ ロック ケーブル 137
- セキュリティ ロック ケーブル用スロット
- 位置 12
- 接続、外部電源 86
- セットアップ ユーティリティ
- 移動 142
- 開始 141
- 言語の変更 142
- 終了 144
- 使用 142
- 設定するパスワード 133
- 選択 142
- 節約、電力 95
- 専用の復元用パーティションからの復元 157
- 
- 外付けオーディオ デバイス、接続 54
- 外付けドライブ 108
- 外付けモニター コネクタ
- 位置 12, 55
- ソフトウェア
- HP Connection Manager 20
- HP MediaSmart 52
- HP Wireless Assistant 19
- Windows Media Player 52
- ウイルス対策 136
- 緊急アップデート 137
- ディスク クリーンアップ 109
- ディスク デフラグ 109
- ファイアウォール 136
- マルチメディア 52
- 無線 WAN 20

- 対応言語 145
- タッチパッド
  - 位置 4, 37
  - オプションの設定 38
  - スクロール ゾーン 4
  - スクロール ゾーン、位置 37
  - ボタン 4
  - ランプ 4
- タッチパッド オン/オフ ボタン、位置 4, 37
- タッチパッド ランプ、位置 4, 37
- 地域コード、DVD 104
- チャンネル/ページ上ボタン 67
- チャンネル/ページ下ボタン 68, 76
- 著作権に関する警告 105
- 通気孔、位置 10, 13
- 次へ進むボタン 68, 76
- 停止ボタン 67, 77
- ディスク クリーンアップ ソフトウェア 109
- ディスク デフラグ ソフトウェア 109
- ディスク パフォーマンス 109
- ディスプレイ
  - 画像、切り替え 41
  - 画面の輝度ホットキー 42
- ディスプレイ スイッチ、位置 9
- デバイス ドライバー
  - HP ドライバー 65
  - Windows ドライバー 65
- テレビ
  - アンテナ/ケーブル コネクタ、位置 11, 48
  - 視聴 58
- テンキー、位置 8
- テンキー、外付け
  - Num Lock 45
  - 使用 45
- テンキー、内蔵
  - 位置 44
  - キーの機能の切り替え 45
- 使用 45
- 有効化と無効化 45
- テンキー ボタン 75
- 電源
  - 接続 86
  - 節約 95
- 電源コード、確認 15
- 電源コネクタ、位置 11
- 電源投入時パスワード
  - 管理 135
  - 作成 135
  - 入力 135
- 電源ボタン 67, 74
- 電源ボタン、位置 7
- 電源ランプ
  - 位置 5, 10
- 動画
  - 使用 55
- ドライブ
  - 取り扱い 98
  - ブート順序 145
- ドライブ メディア 80
- ドライブ ランプ、位置 5, 10
- ドライブ ランプ、保護の状態の確認 110
- トラブルシューティング
  - DVD 動画再生 63
  - HP デバイス ドライバー 65
  - Windows デバイス ドライバー 65
  - オプティカル ディスク トレイ 60
  - オプティカル ドライブ検出 61
  - 外付けディスプレイ 63
  - ディスク書き込み 63
  - ディスクの再生 62
  - モデム 35
- 内蔵ディスプレイ スイッチ、位置 9
- 入力ボタン 77
- ネットワーク アイコン 18, 29
- ネットワーク キー 29
- ネットワーク ケーブル
  - 接続 36
  - ノイズ抑制コア 36
- ネットワーク セキュリティ コード SSID 29
- ネットワーク キー 29
- ノイズ抑制コア
  - ネットワーク ケーブル 36
  - モデム ケーブル 32
- ハードドライブ
  - HP ProtectSmart Hard Drive Protection 110
  - 取り付け 113
  - 取り付けなおし 112
  - 取り外し 112
- ハードドライブ セルフテスト 146
- ハードドライブ ベイ、位置 13
- ハイバネーション
  - 開始 81
  - 完全なロー バッテリ状態で開始 91
  - 終了 81
- パスワード
  - Windows での設定 132
  - 管理者 133
  - セットアップ ユーティリティでの設定 133
  - 電源投入時 134
- バックアップ
  - カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、およびメニュー バーの設定 154
  - 個人用ファイル 154
  - テンプレート 154
- バッテリー
  - 温度 95
  - 確認 15
  - 交換 95
  - 再充電 94
  - 充電 90, 93
  - 処理 95
  - 節電 95
  - 装着 89
  - 調整 93

- 取り外し 89
- 放電 91
- 保管 95
- ロー バッテリー状態 91
- バッテリー ゲージの調整 93
- バッテリー電源 88
- バッテリーの装着 70, 78
- バッテリー ベイ
  - 位置 13
- バッテリー ランプ 5, 10, 90, 91
- バッテリー リリース ラッチ
  - 位置 13, 89
- ハブ 118
- 早送りボタン 68, 77
- 早戻しボタン 68, 75
- 
- 左ボタン 68
- ビデオ伝送方式 41
- 
- ファイアウォール 22
- ファイアウォール ソフトウェア 136
- ファンクション キー
  - 位置 39
- ファンクション キー、位置と名称 8
- ファンを常にオン 145
- ブート順序 145
- 復元
  - システム 157
- 復元ポイント 156
- 復元用パーティション 152
- ブルーレイ ディスク
  - 再生 103
  - 取り出し 107
- プログラム、更新 151
- プログラムまたはドライバーの復元 152
- プロジェクトター、接続 55
- プロダクト キー 16
- フロッピーディスク ドライブ 108
- 
- ベイ
  - ハードドライブ 13
  - バッテリー 13, 16
- ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ 10, 48
- ヘルプとサポート ホットキー 40
- 変更/ページ上ボタン 76
- 
- 放送中のテレビ ボタン 75
- ポート
  - 拡張 12, 121
- 保管、バッテリー 95
- ボタン
  - DVD 67, 76
  - HP MediaSmart 49
  - MediaSmart 67, 75
  - OK 68, 74
  - Teletext 76
  - Windows Media Center 67, 76
  - 印刷 75
  - 上 68
  - 音量上げ 69, 74
  - 音量下げ 69, 74
  - ガイド 74
  - 画面切り替え 67, 75
  - クイック リファレンス 67, 74
  - 再生 75
  - 再生/一時停止 68
  - 左右のタッチパッド 4, 37
  - 下 69
  - 消去 75
  - 情報 69, 76
  - ズーム 75
  - スナップショット 75
  - タッチパッド オン/オフ 4, 37
  - チャンネル/ページ上 67
  - チャンネル/ページ下 68, 76
  - 次へ進む 68, 76
  - 停止 67, 77
  - テンキー 75
  - 電源 7, 67, 74
  - 入力 77
  - 早送り 68, 77
  - 早戻し 68, 75
  - 左 68
  - 変更/ページ上 76
  - 放送中のテレビ 75
  - 前へ戻る 68, 75
  - 右 68
  - ミュート 69, 74
  - ミュート (消音) 7, 49, 50
  - 無線 8
  - 戻る 68, 74
  - 矢印 74
  - 録画番組 74
- ボタン音 145
- ホットキー
  - QuickLock の開始 42
  - Web ブラウザーを開く 41
  - 印刷オプション ウィンドウを開く 41
  - オーディオ CD または DVD のコントロール 43
  - 画面輝度を上げる 42
  - 画面切り替え 41
  - システム情報を表示する 40
  - 使用 40
  - スリープの開始 42
  - 説明 39
  - [ヘルプとサポート]を表示する 40
- 
- マイク (オーディオ入力) コネクタ 10
- マイク (内蔵)、位置 9, 48
- マウス、外付け
  - オプションの設定 38
  - 接続 38
- 前へ戻るボタン 68, 75
- マルチメディア コンポーネント、確認 48
- マルチメディア ソフトウェア 52
- 
- 右ボタン 68
- ミニカード コンパートメント、位置 13
- ミュート (消音) ボタン
  - 位置 7, 49, 50
- ミュート (消音) ランプ、位置 5
- 
- 無線 LAN のセットアップ 21
- 無線 LAN への接続 23
- 無線 LAN モジュール 13
- 無線 LAN ラベル 16

- 無線 WAN ソフトウェア 20
- 無線 WAN モジュール 24
- 無線アイコン 18
- 無線アンテナ 14
- 無線コントロール
  - [HP Connection Manager]ソフトウェア 18
  - [HP Wireless Assistant]ソフトウェア 18
  - オペレーティング システム 18
  - ボタン 18
- 無線デバイス、種類 17
- 無線認定/認証ラベル 16
- 無線ネットワーク (無線 LAN)
  - 企業無線 LAN への接続 23
  - 公共無線 LAN への接続 23
  - セキュリティ 22
  - 接続 23
  - 説明 17
  - 動作範囲 23
  - 必要な機器 21
- 無線ボタン
  - 位置 8
  - 使用 19
- 無線ランプ 6, 18
- - メディア カード
    - 挿入 122
    - 定義 122
    - 停止 123
    - 取り出し 123
  - メディア コントロール、ホットキー 39, 43, 51
  - メディアスマート ボタン 49
  - メディア スロット、位置 12
  - メディア スロット ランプ、位置 12
  - メモリ テスト 146
  - メモリ モジュール
    - 装着 128
    - 取り外し 128
  - メモリ モジュール コンパートメント、位置 13
  - メモリ モジュール コンパートメント カバー
    - 取り付け 129
    - 取り外し 128
- メンテナンス
  - ディスク クリーンアップ 109
  - ディスク デフラグ 109
- - モデム ケーブル
    - 各国仕様のケーブル アダプター 33
    - 接続 32
    - ノイズ抑制コア 32
  - モデム ソフトウェア
    - 国外での接続に関する問題 35
    - 所在地の設定および追加 33
  - モデム認定/認証ラベル 16
  - 戻るボタン 68, 74
  - モニター コネクタ、外付け 12
  - モニター、接続 55
  - 問題、解決 60
- - 矢印ボタン 74
- - 読み取り可能メディア 80
- - ラッチ
    - SmartBay リリース 13
    - バッテリー リリース 13
  - ラベル
    - Bluetooth 16
    - HP モバイル ブロードバンド 16
    - Microsoft Certificate of Authenticity 16
    - SIM 16
    - 規定 16
    - サービス タグ 16
    - 無線 LAN 16
    - 無線認定/認証 16
    - モデム認定 16
  - ランプ
    - Caps Lock 5
    - Num Lock 6, 44
    - Web カメラ 9
    - 音量上げ 5
    - 音量下げ 5
    - タッチパッド 4
    - 電源 5, 10
- ドライブ 5, 10, 110
- バッテリー 5, 10
- ミュート (消音) 5
- 無線 6
- メディア スロット 12
- - リカバリ ディスク 152, 153
  - リカバリ ディスクからの復元 157
- - ローカル エリア ネットワーク (LAN)
    - ケーブルの接続 36
    - 必要なケーブル 36
  - ロー バッテリー状態 91
  - 録画番組ボタン 74

